

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-6

< 第42週 >

流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い / その他最新動向



注目すべき感染症
P.7-9

< 感染性胃腸炎 >

第42週の定点当たり報告数は3.70と前週よりも増加した



病原体情報
P.10-12

インフルエンザウイルス 2010/11シーズン



速報
P.13

横浜市内で検出されたD8型麻疹ウイルス輸入症例



海外感染症情報
P.14-17

インフルエンザ / パキスタンにおけるクリミアコンゴ出血熱および
デング熱 / パキスタンにおけるコレラ / ハイチにおけるコレラ



感染症の話
P.18

< 今週はお休みです >



読者のコーナー
< 今週は該当記事は
ありません >



グラフ総覧(42週)
P.19-24



42週のデータ
P.25-37



発生動向総覧

< 第42週コメント > 10月27日集計分

全数報告の感染症

注意: これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が集計の期日以降に届くこともあります。それらについては一部を除いて発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。

感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを示します。

1類感染症

報告なし

2類感染症

結核325例

3類感染症

細菌性赤痢12例

菌種: *S. flexneri* (B群) 3例__感染地域: 宮城県1例、東京都1例、愛知県1例

菌種: *S. sonnei* (D群) 9例__感染地域: 愛知県2例*、埼玉県1例、石川県1例、福岡県1例、国内(都道府県不明)1例、中国1例、インドネシア1例、マダガスカル1例

* *S. sonnei* による食中毒が発生し、愛知県から2例報告されている。通常国内で感染した *S. sonnei* 症例は0～2例/週の報告であるが、第41週以降増加している(第41週10例、第42週6例)。広域にわたって複数自治体から報告されており、感染源として寿司や刺身などの海産物が推定されている症例もみられる。食品を介した広域感染事例の可能性を考慮し、国内での *S. sonnei* 症例に対して、菌株の分子疫学解析を含む積極的な疫学調査が必要と思われる。

腸管出血性大腸菌感染症62例(有症者36例、うちHUS 1例)

感染地域: 国内62例

国内の感染地域: 福岡県7例、岩手県6例、愛知県5例、千葉県4例、宮城県3例、岐阜県3例、大阪府3例、熊本県3例、福島県2例、東京都2例、兵庫県2例、岡山県2例、広島県2例、佐賀県2例、北海道1例、秋田県1例、山形県1例、埼玉県1例、神奈川県1例、富山県1例、三重県1例、奈良県1例、不明8例

年齢群: 0歳(1例)、2歳(2例)、3歳(3例)、5歳(3例)、6歳(2例)、7歳(2例)、8歳(1例)、9歳(2例)、10代(7例)、20代(8例)、30代(11例)、40代(7例)、50代(5例)、60代(4例)、70代(2例)、80代(1例)、90代(1例)

血清型・毒素型: O157 VT1・VT2(19例)、O157 VT2(19例)、O26 VT1(6例)、O111 VT1・VT2(4例)、O111 VT1(3例)、O91 VT1(2例)、O157 VT不明(2例)、O115 VT1(1例)、O121 VT2(1例)、O146 VT1・VT2(1例)、その他・不明(4例)

累積報告数: 3,758例(有症者2,479例、うちHUS 80例、死亡5例)

4類感染症

- つつが虫病3例 感染地域: 秋田県1例、福島県1例、奈良県1例
- デング熱3例 感染地域: フィリピン1例、ベトナム1例、インド1例
- 日本紅斑熱2例 感染地域: 広島県1例、宮崎県1例
- 日本脳炎1例 年齢: 60代__感染地域: 三重県
- マラリア1例 熱帯熱__感染地域: ガーナ
- レジオネラ症12例(肺炎型12例)
 - 感染地域: 大阪府2例、福島県1例、千葉県1例、東京都1例、長野県1例、京都府1例、兵庫県1例、山口県1例、徳島県1例(温泉)、国内(都道府県不明)1例、国内・国外不明1例
 - 年齢群: 40代(1例)、50代(2例)、60代(2例)、70代(2例)、80代(5例)
- レプトスピラ症2例 感染地域: 沖縄県2例__感染源: 不明2例

5類感染症

- アメーバ赤痢13例(腸管アメーバ症10例、腸管外アメーバ症3例)
 - 感染地域: 福島県1例、神奈川県1例、長野県1例、京都府1例、国内(都道府県不明)4例、韓国1例、フィリピン1例、米国1例、東南アジア(国不明)1例、国内・国外不明1例
 - 感染経路: 経口感染5例、性的接触1例(異性間)、その他・不明7例
- ウイルス性肝炎3例 B型2例__感染経路: 性的接触1例(異性間)、不明1例
C型1例__感染経路: 不明
- 急性脳炎1例 病原体不明__年齢群: 70代
- クロイツフェルト・ヤコブ病5例
 - 孤発性プリオン病古典型3例
 - 遺伝性プリオン病家族性1例
 - 感染性プリオン病医原性1例
- 後天性免疫不全症候群19例(AIDS 4例、無症候13例、その他2例)
 - 感染地域: 国内16例、ブラジル1例、ナイジェリア1例、ブルキナファソ1例
 - 感染経路: 性的接触18例(異性間7例、同性間11例)、性的接触(異性間)静注薬物使用1例
- ジアルジア症2例 感染地域: 長崎県1例、国内(都道府県不明)1例
- 梅毒6例(早期顕症I期2例、早期顕症II期1例、晩期顕症1例、無症候2例)
- 破傷風1例 年齢群: 50代
- バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例
 - 遺伝子型: *VanA*__検出検体: 皮膚、術創、皮下および腹腔内ドレーン
- 風しん1例(検査診断例)
 - 感染地域: 国内・国外不明
 - 年齢群: 35 ~ 39歳
- 麻しん5例〔麻しん(検査診断例1例、臨床診断例2例)、修飾麻しん(検査診断例2例)〕
 - 感染地域: 国内5例

国内の感染地域: 埼玉県1例、東京都1例、京都府1例、国内(都道府県不明)2例

年齢群: 0歳(1例)、1歳(1例)、2歳(1例)、3歳(1例)、15 ~ 19歳(1例)

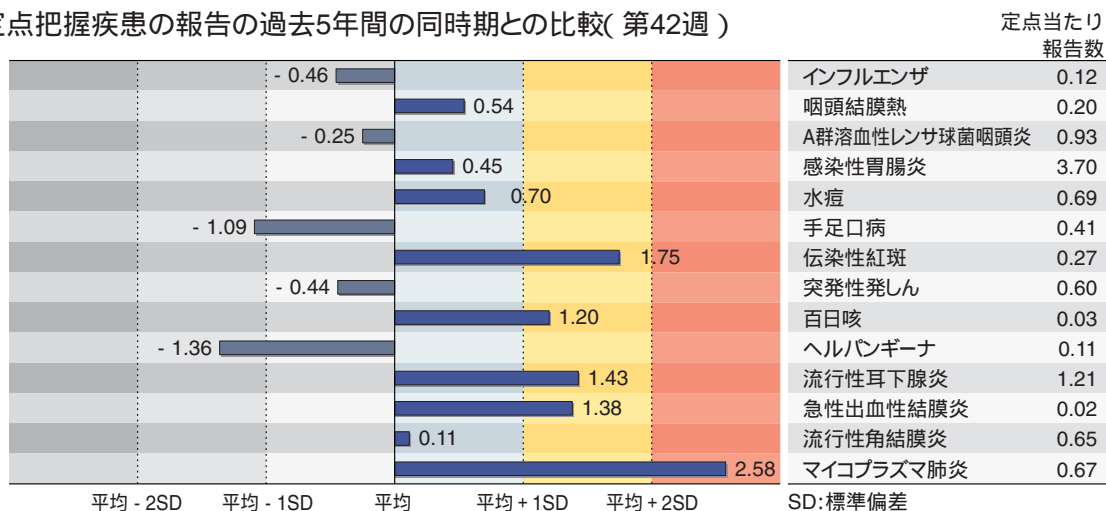
累積報告数: 408例(麻しん(検査診断例143例、臨床診断例117例)、修飾麻しん(検査診断例148例))

(補)他に2010年第41週までに診断されたものの報告遅れとして、細菌性赤痢4例(感染地域: 福岡県3例、国内(都道府県不明)1例)、エキノコックス症1例(多包条虫__感染地域: カナダ)、 Dengue熱2例(感染地域: バングラデシュ1例、インド1例)、レジオネラ症3例(感染地域: 埼玉県1例(温泉)、山口県1例(温泉)、国内(都道府県不明)1例(温泉 . 死亡))、急性脳炎3例(マイコプラズマ2例(ともに9歳)、病原体不明1例(70代))、バンコマイシン耐性腸球菌感染症3例(遺伝子型: *VanC* 2例__菌検出検体: 血液1例、胆汁1例 . 遺伝子型: 不明1例__菌検出検体: 便)などの報告があった。

定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

定点把握疾患の報告の過去5年間の同時期との比較(第42週)



当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)との差をグラフ上に表現した。

インフルエンザ

定点当たり報告数は増加した。都道府県別では沖縄県(0.76)、北海道(0.49)、福井県(0.28)、宮城県(0.27)、三重県(0.26)、岐阜県(0.24)、東京都(0.19)が多い。

小児科定点報告疾患

RSウイルス感染症の報告数は1,033例と微増した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約73%を占めている。

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では高知県(0.63)、石川県(0.62)、沖縄県(0.56)が多い。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では福井県(2.32)、山口県(2.22)、石川県(1.90)が多い。

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では大分県(10.31)、山形県(9.47)、佐賀県(6.96)が多い。

水痘の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では福井県(1.82)、島根県(1.61)、大分県(1.53)が多い。

手足口病の定点当たり報告数は第29週以降減少が続いている。都道府県別では岩手県(1.25)、北海道(1.24)、福井県(1.05)が多い。

伝染性紅斑の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別では福岡県(1.10)、熊本県(0.94)、佐賀県(0.70)が多い。

百日咳の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では沖縄県(0.15)、広島県(0.13)、栃木県(0.10)、千葉県(0.10)、福岡県(0.10)が多い。

ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第29週以降減少が続いている。都道府県別では北海道(0.39)、福島県(0.27)、香川県(0.25)が多い。

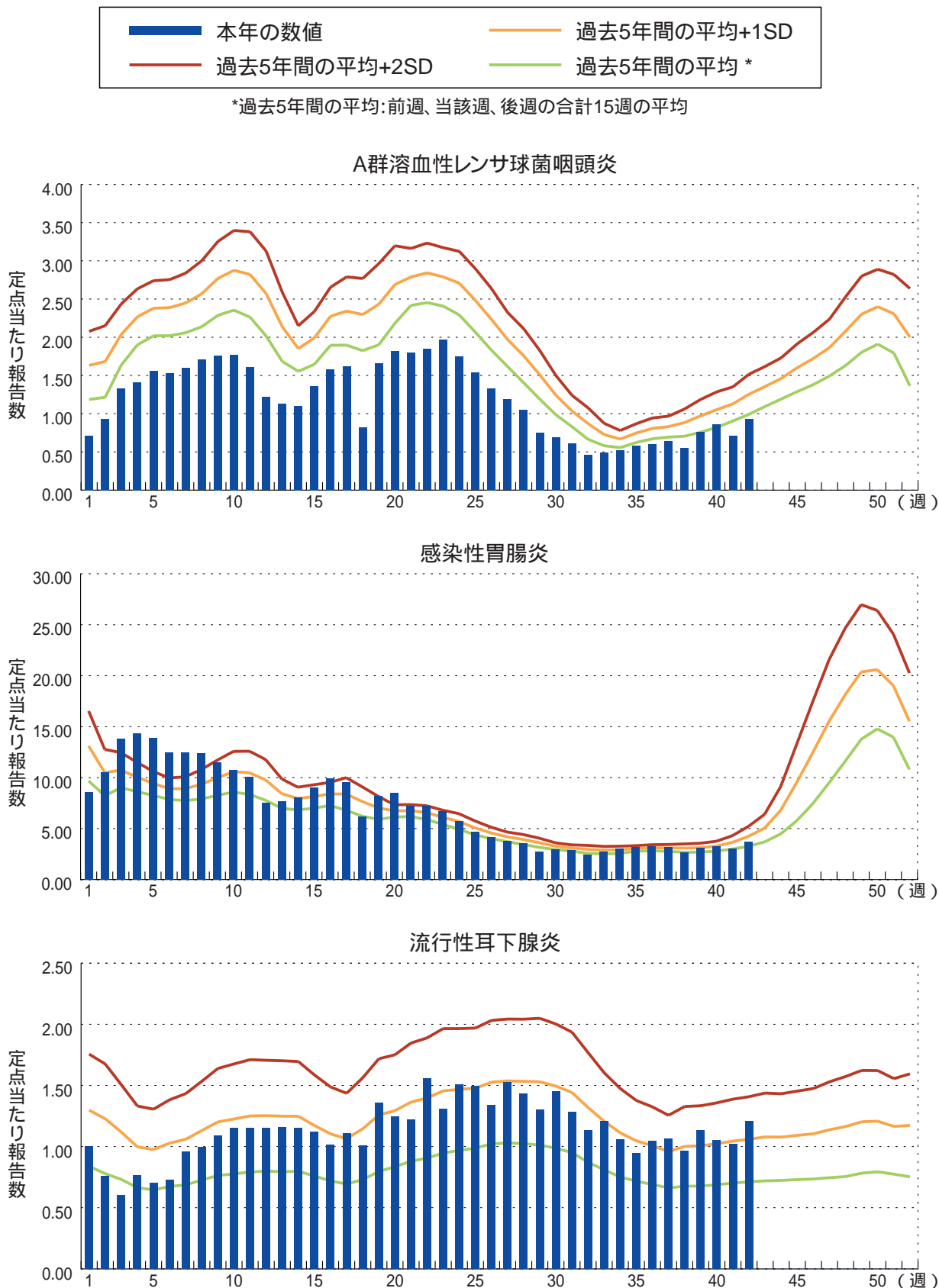
流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では新潟県(2.92)、長野県(2.80)、兵庫県(2.22)、宮崎県(2.22)が多い。

基幹定点報告疾患

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では宮城県(2.50)、埼玉県(2.44)、福島県(2.29)が多い。

図. 主要定点把握疾患の過去5年間との週別比較(2010年第42週)

青のバーで示す本年の定点当たり報告数が赤のラインを超えているときには、過去5年間の週と比較してかなり多いことを示す。





注目すべき感染症

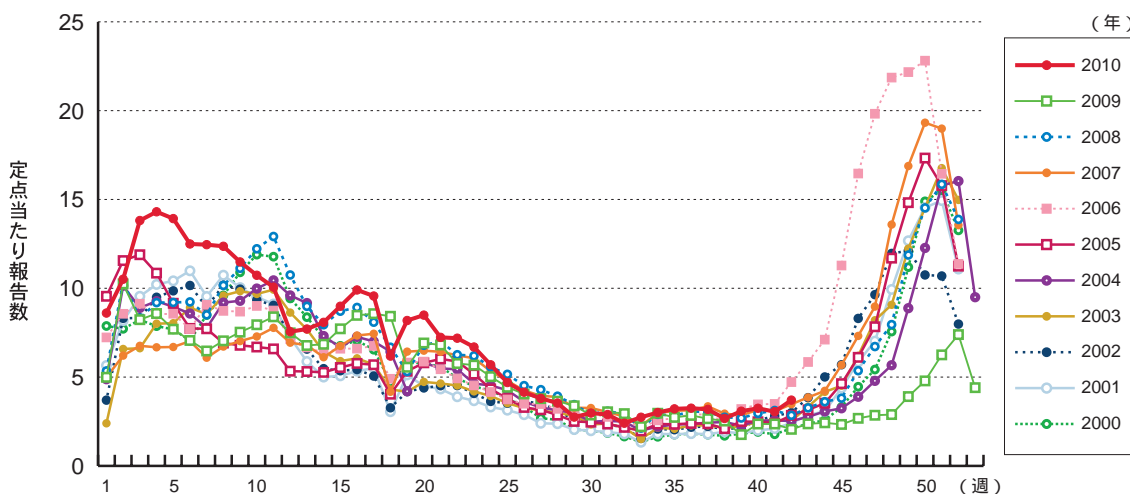
感染性胃腸炎

感染性胃腸炎は多種多様な原因によるものを包含する症候群名である。全国約3,000カ所の小児科定点からの患者発生報告数が増加するのは冬季であり、その大半はノロウイルスやロタウイルス等のウイルス感染を原因とするものであると推測されている(IASR, Vol. 28, No. 10, P277-278参照)。また、患者発生のピークは例年12月中となることが多く(図1)、同時期の感染性胃腸炎の、特に集団発生例の原因の多くはノロウイルスによるものであると考えられてきた(感染症情報センターホームページ <http://idsc.nih.go.jp/iasr/noro.html> 参照)。

ノロウイルス感染症の潜伏期間は数時間 ~ 数日(平均1 ~ 2日)で、主な症状は嘔気・嘔吐及び下痢であり、嘔吐・下痢は1日数回から多いときには10回以上のこともある。しかし、症状持続期間は数時間 ~ 数日(平均1 ~ 2日)と比較的短く、以前から他の病気がある等の要因がない限りは、重症化して長期にわたり入院を要することは少ない。また、発熱の頻度は高くはない。治療では特效薬はなく、対症療法となるが、最も重要なことは水分補給によって脱水を防ぐことである。

ノロウイルスの感染経路としては、以前は食中毒としての経口感染がよく知られていたが、患者や無症状病原体保有者との直接もしくは間接的接触による接触感染や、患者の嘔吐物や下痢便を介した飛沫感染等のヒト - ヒト感染があり、その感染力は非常に強い。乳幼児の集団生活施設である保育所や幼稚園、小児の集団生活施設である小学校等においては、これら接触感染や飛沫感染等により、集団発生が繰り返されてきているものと推察される。また、2006年12月の東京都豊島区のホテルにおいて発生した集団感染事例のように、「吐物や下痢便の処理が適切に行われなかったために残存したウイルスを含む小粒子が、掃除などの物理的刺激によって舞い上がり、それを間近とは限らない場所で吸引し、経食道的に嚥下して消化管へ至る感染経路」である「塵埃感染」が発生する場合がある(感染症情報センターホームページ「ノロウイルスの感染経路」: <http://idsc.nih.go.jp/disease/norovirus/0702keiro.html> 参照)。ノロウイルスの感染予防には、流水・石けんによる手洗いの励行と吐物や下痢便の適切な処理がきわめて重要である(感染症情報センターホームページ「家庭等一般の方々へ」: <http://idsc.nih.go.jp/disease/norovirus/taio-a.html>、「医療従事者・施設スタッフ用」: <http://idsc.nih.go.jp/disease/norovirus/taio-b.html> 参照)。

図1. 感染性胃腸炎の年別・週別発生状況(2000 ~ 2010年第42週)



感染症発生動向調査によると、全国約3,000カ所の小児科定点からの感染性胃腸炎の2010年第42週の定点当たり報告数は3.70(報告数11,202)と、前週(定点当たり報告数3.05)より増加した(図1)。都道府県別では、大分県(10.31)、山形県(9.47)、佐賀県(6.96)、福井県(6.82)、長崎県(5.91)、宮崎県(5.75)、三重県(5.38)の順となっている。第42週は、41都道府県で前週の報告数より増加がみられているが、特に山形県、大分県、佐賀県、新潟県、福井県での報告数の増加が目立っている(図2)。2010年第1週から第42週までの定点当たり累積報告数は291.47(累積報告数882,268)であり、年齢群別では0~1歳22.7%、2~3歳21.1%、4~5歳17.5%、6~7歳11.4%の順であり、5歳以下で全報告数の60%前後を、7歳以下で70%以上を占めている(図3)のは例年と同様である。

新型インフルエンザの流行がピークを迎えつつあった2009年の秋季から冬季にかけて、感染性胃腸炎の流行は例年と比べて小さなものとなったが、過去10年間の第36週以降の報告数を比べてみると、2010年は2006年に次ぐ高い水準を概ね推移している(図1)。これまで感染性胃腸炎の報告数は11月に入ると急増し、12月の中旬以降(第50~52週)にピークを迎えるという流行を毎年繰り返してきている。感染性胃腸炎の今後の発生動向には注意が必要である。

図2. 感染性胃腸炎の都道府県別定点当たり報告数の推移(2010年第40~42週)

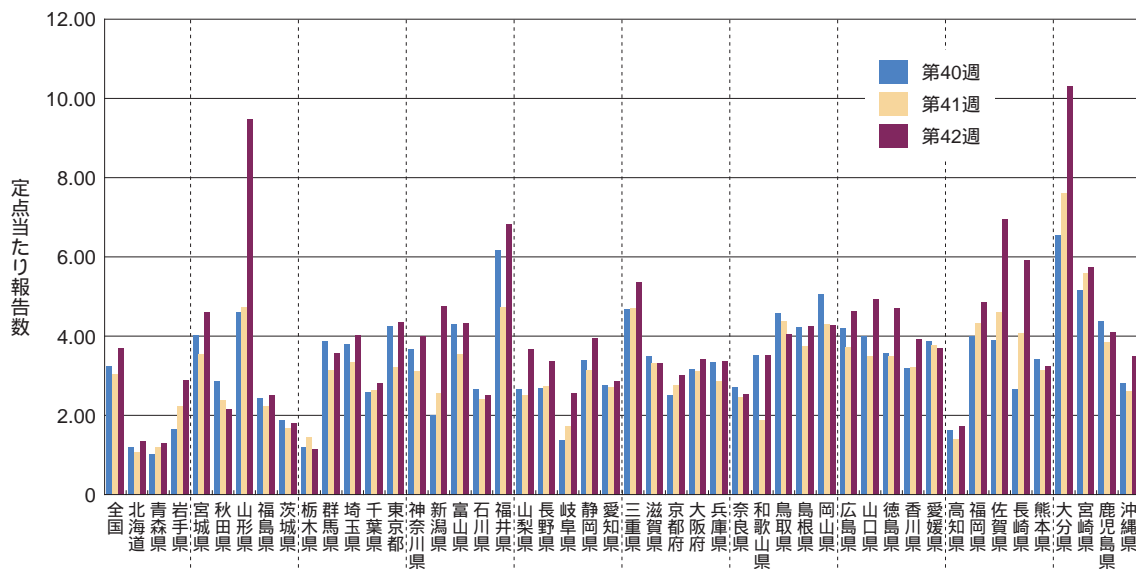
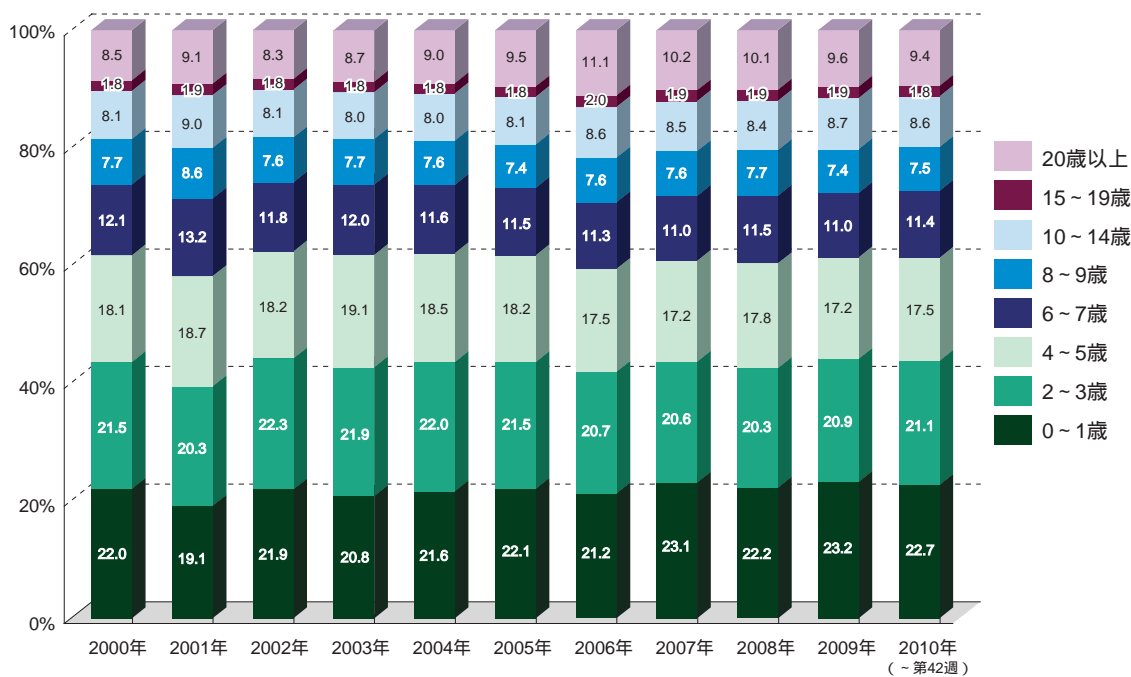


図3. 感染性胃腸炎の年別・年齢群別割合(2000～2010年第42週)





病原体情報

* グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。

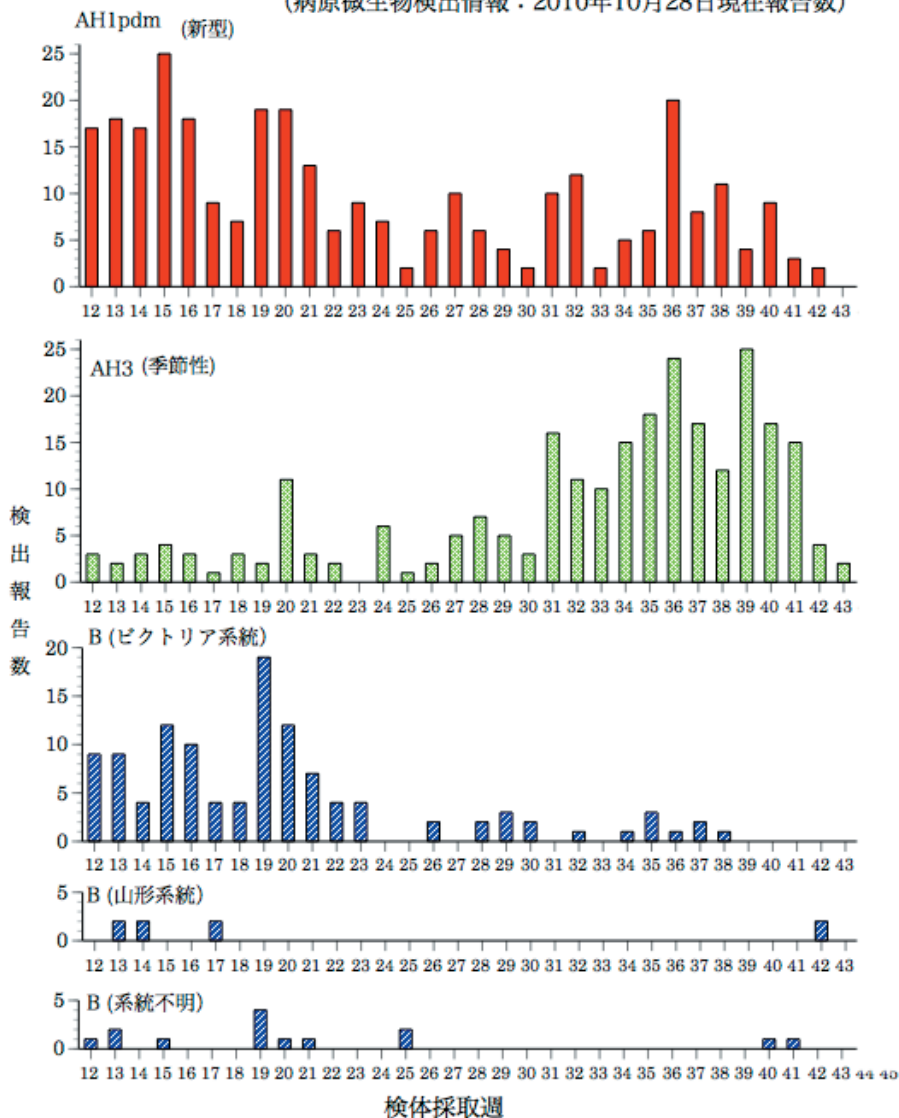
国立感染症研究所・感染症情報センターには各都道府県市の地方衛生研究所(地研)から「病原体個票」と「集団発生病原体票」が報告されています。これには感染症発生動向調査の定点およびその他の医療機関、保健所等で採取された検体から検出された病原体の情報が含まれています。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

(2010年10月28日現在報告分)

インフルエンザウイルス 2010/11シーズン

AH1pdmは2010年第4週以降減少し、第12週以降は少数の報告となっている。第28週以降、AH3亜型の報告数がAH1pdmを上回っている。

週別インフルエンザウイルス分離・検出報告数、2010年第12～43週
(病原微生物検出情報：2010年10月28日現在報告数)

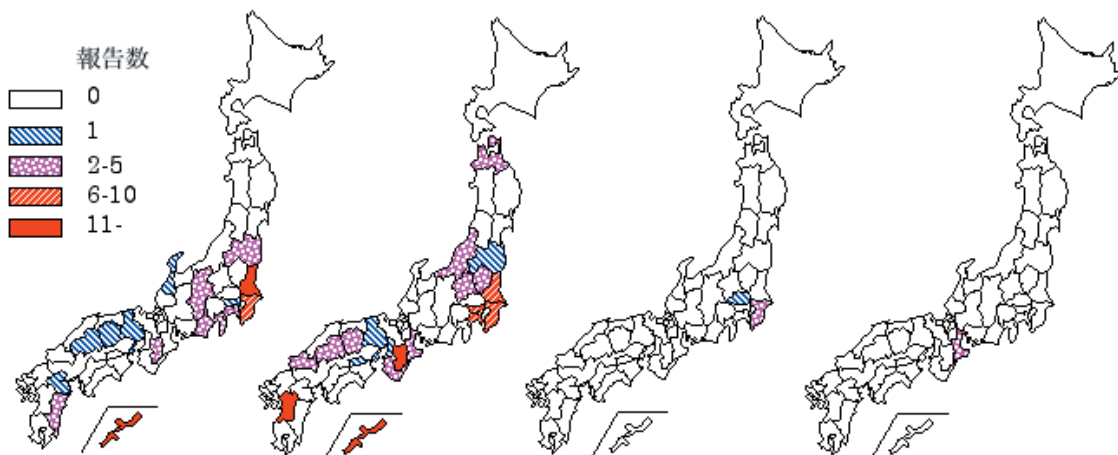


各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した
(データは現在週および過去の週に遡って追加が見込まれる)



2010/11シーズンにはAH1pdmが15都県から57件、AH3亜型が20都府県から116件、B型はビクトリア系統株が2県から4件、山型系統株が三重県から2件、系統不明株が2都県から2件報告されている。

都道府県別インフルエンザウイルス分離・検出報告状況、2010年第36~43週
(病原微生物検出情報：2010年10月28日現在報告数)



AH1pdm(新型) (57例) AH3 (116例) B(ビクトリア系統) (4例) B(山形系統) (2例)

各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



直近の2010年第38~42週の5週間ではAH1pdmが12都県から29件(沖縄県9件、茨城県、神奈川県各4件、千葉県、長野県、奈良県各2件、東京都、石川県、兵庫県、岡山県、広島県、大分県各1件)、AH3亜型が15都府県から73件(沖縄県22件、奈良県13件、熊本県7件、東京都、三重県各5件、茨城県4件、千葉県、神奈川県、和歌山県各3件、群馬県、広島県各2件、青森県、大阪府、兵庫県、香川県各1件)、B型はビクトリア系統株が埼玉県から1件、山型系統株が三重県から2件、系統不明株が東京都、長崎県から各1件報告されている。AH1pdm(29件)は分離・検出例全体(107件)の27%を占めている。

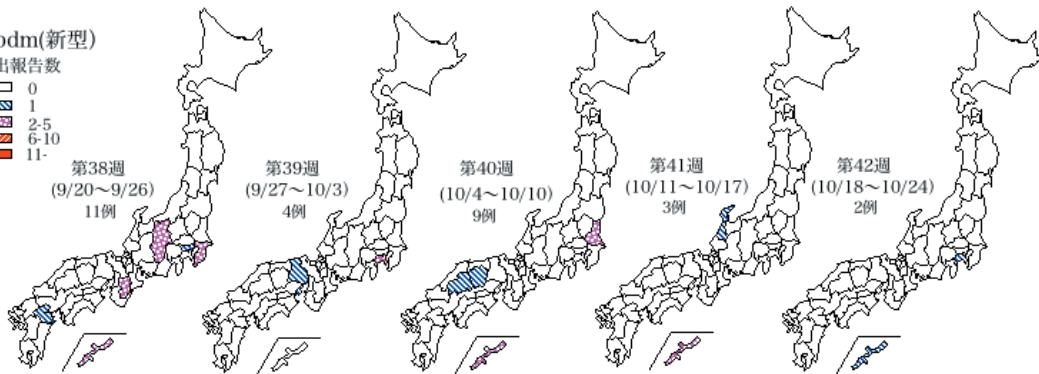
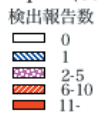
このうち、輸入例からの分離・検出が11件(AH1pdm 3件、AH3亜型8件)報告されている。

インフルエンザウイルス分離・検出速報は <http://idsc.nih.go.jp/iasr/influ.html> を参照ください。

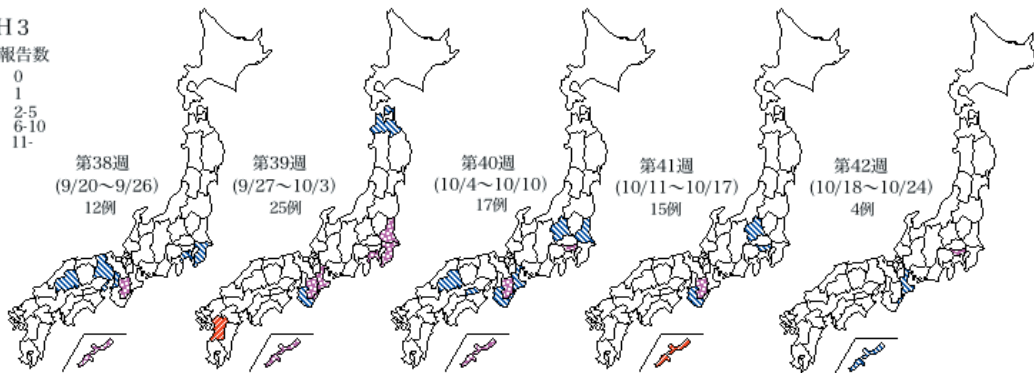
週別都道府県別インフルエンザウイルス分離・検出報告状況、2010年第38～42週

(病原微生物検出情報：2010年10月28日現在報告数)

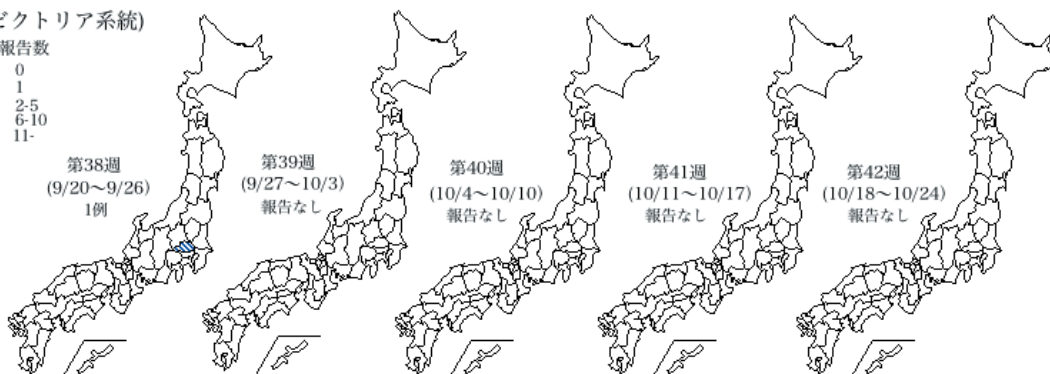
AH1pdm(新型)



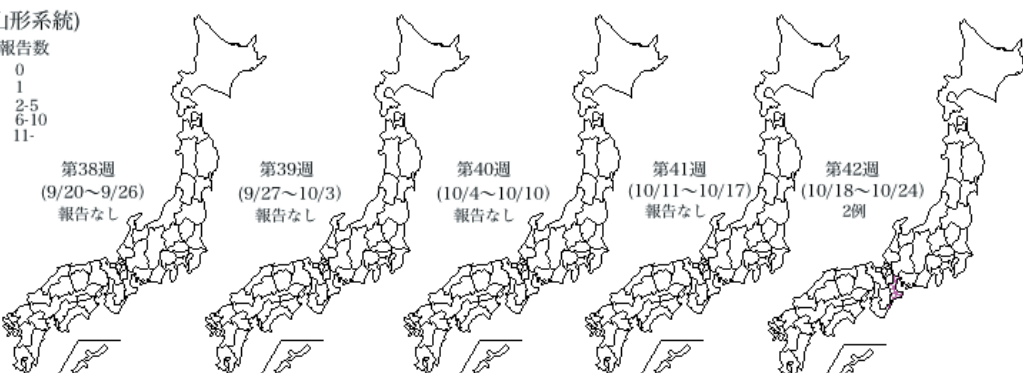
AH3



B (ビクトリア系統)



B (山形系統)



* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を検体採取週別に図に示した





横浜市内で検出されたD8型麻疹ウイルス輸入症例

2010年9月に、横浜市内の医療機関で麻疹と診断された患者からD8型麻疹ウイルス遺伝子が検出されたので報告する。

患者は5歳男児で、麻疹ワクチン接種歴はなかった。インドに2カ月半滞在後、9月2日に帰国した。9月5日から発熱、上気道炎症状が出現し、近医で処方された解熱剤を服用し、9日には37.7 になるも、10日に再び38 以上となり、医療機関を受診した。発疹(顔から体幹にかけて丘疹状)、コプリック斑、結膜充血が認められたため、臨床症状より麻疹と診断され、発生届および連絡票(注)が保健所に提出された。民間検査センターにおいて実施された9月10日採取血清の麻疹抗体検査の結果は、IgM 6.16、IgG 2.0であった。

9月10日に採取された患者の咽頭ぬぐい液、末梢血単核球、血漿および尿を検体として、市衛生研究所でRT-nested PCR法により麻疹ウイルス遺伝子検出を試みた結果、咽頭ぬぐい液、末梢血単核球および尿検体で麻疹ウイルスのHおよびN遺伝子が増幅された。これら3検体由来のN遺伝子増幅産物について、direct sequence法で塩基配列を決定し、系統解析を実施したところ、塩基配列はすべて一致し、検出された株(Mvs/Yokohama.JPN/36.10)は遺伝子型D8に分類された。GenBankに登録されている株との相同性検索では、配列が100%一致する株は見出されなかったが、2006年以降にインド、オーストラリア、カナダで検出されたD8型の株(MVs/Bijnore.IND/05.06、MVs/Bijnore.IND/07.06/2、MVs/Warangal.IND/08.07/2、Mvi/Sydney.Aus/3.06、Mvi/Sydney.Aus/5.06、Mvi/Sydney.Aus/6.06、MVs/Ontario.CAN/12.08)と99%一致した(454bp/456bp)。2009年に沖縄県で分離された株(Mvi/Okinawa.JPN/37.09)との一致率は98%(448bp/456bp)であった。

D8型麻疹ウイルスは、インド、ネパール、バングラデシュなどに分布しているほか、これら以外の地域で輸入例として報告されている¹⁾。本邦においては、2009年に沖縄県で初めてD8型麻疹ウイルスに起因する症例が確認された²⁾。今回の症例は、患者の渡航歴からインドを感染地とする輸入例と考えられた。10月15日現在、本症例からの二次感染例は確認されていない。麻疹患者発生数の減少に伴い、輸入例の監視の重要性は今後さらに高まるものと考えられる。

(注)横浜市内では、発生届と合わせて「麻しん(はしか)連絡票」の記入をお願いしている。連絡票の内容は、患者の氏名・住所・所属施設等の個人情報、連絡票を福祉保健センターへ提出することへの患者本人あるいは保護者の同意の有無である。

参考文献

- 1)WER 81: 474-479, 2006 2)IASR 30: 299-300, 2009

横浜市衛生研究所

七種美和子 熊崎真琴 川上千春 宇宿秀三 野口有三 池淵 守
飛田ゆう子 高野つる代 蔵田英志

横浜市健康福祉局健康安全課

岩田眞美 紺野美貴 椎葉桂子 市川英毅 修理 淳
横浜市保健所 豊澤隆弘

(IASR 2010年11月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)



海外感染症情報

*WHOのEPR(Epidemic and Pandemic Alert and Response)による、感染症アウトブレイクニュースを掲載しています。

インフルエンザ

2010年10月20日 - 更新119

南半球温帯地域のインフルエンザの活動性は減少し続けている。北半球温帯地域の大部分ではインフルエンザの活動性は依然として低い。インフルエンザウイルスA/H3N2亜型は世界中で最も伝播しており、その大部分はA/Perth/16/2009様ウイルスであり、北および南半球の季節型ワクチンに含まれている型である。

南半球温帯地域：

南半球温帯地域のこの冬のインフルエンザの活動性はすでにピークに達し、大部分の地域で減少し続けている。

ニュージーランドにおけるインフルエンザの活動性は8月下旬以降減少し、過去3週連続でベースライン以下になっている。オーストラリアでは、9月最終週にインフルエンザの活動性の増加が確認され、インフルエンザウイルスH1N1(2009)およびB型の同時伝播が報告されている。

南アメリカ南部のチリでインフルエンザの高い活動性が報告され続けていたが、9月中旬以降その活動性は減少してきている。チリで伝播しているのはインフルエンザウイルスA/H3N2亜型でありH1N1(2009)も少数だが同時に報告されている。RSウイルスのような他の呼吸器感染症ウイルスの伝播も減少している。アルゼンチンやウルグアイでは、主にインフルエンザウイルスB型が伝播していたが、現在ではそれを含む呼吸器感染症ウイルスの伝播は減少している。

南アフリカ共和国では、インフルエンザウイルスB型を主にA/H3N2亜型およびH1N1(2009)の少数だが同時伝播によるインフルエンザの高い活動性が報告されていたが、その活動性は減少し続けている。

熱帯地域：

大部分の熱帯地域ではインフルエンザの活動性は減少しているが、東南アジア、中央・南アメリカでは主にインフルエンザウイルスA/H3N2亜型の伝播による活動性の増加が報告されている国々がある。

中央アメリカでは8月10日以降インフルエンザウイルスA/H3N2亜型の伝播が報告されていたが、インフルエンザの活動性は減少し続けている。カリブ海諸国ではジャマイカにおいて、主としてインフルエンザウイルスA/H3N2亜型による重症急性呼吸器感染症が増加している。メキシコではインフルエンザの活動性が通常より早く始まっており、インフルエンザウイルスA/H3N2亜型の伝播が報告されているが、インフルエンザ様疾患と重症急性呼吸器感染症の活動性は8～9月にピークに達し、その後減少し続けている。

南アメリカではコロンビアにおいて、インフルエンザウイルスA/H3N2亜型を主にH1N1(2009)およびB型によるインフルエンザの活動性の増加が報告されている。

南アジアではインドにおいて、主にインフルエンザウイルスH1N1(2009)によるインフルエンザの活動性はピークに達し、現在ではすべての地域で新規患者・死亡者の報告数は減少している。

東南アジアでは、隣国同士のタイとカンボジアにおいてインフルエンザの活動性の増加が報告されている。タイではインフルエンザウイルスH1N1(2009)を主にA/H3N2亜型およびB型の、カンボジアでは主にA/H3N2亜型の伝播が報告されている。

中国の香港特別行政区では、インフルエンザ様疾患の活動性の減少を報告している。

熱帯地域のアフリカ諸国はインフルエンザの活動性は低い。西アフリカでは少数のインフルエンザウイルスH1N1(2009)の、東アフリカ、特にケニアでは少数だが持続的なインフルエンザウイルスA/H3N2亜型の伝播が報告され続けている。

カメルーンおよび中央アフリカ共和国では、インフルエンザウイルスB型、A/H3N2亜型、およびH1N1(2009)による散発的なインフルエンザの活動性が報告されている。

北半球温帯地域 :

中国は北部および南部地域でインフルエンザの活動性の減少を報告している。8月中旬から両地域ともにインフルエンザウイルスA/H3N2亜型が伝播している。

北アメリカでは依然 インフルエンザの活動性は低い。カナダではインフルエンザ様疾患の活動性が少し増加しており、主にインフルエンザウイルスA/H3N2亜型の伝播が報告されている。米国ではインフルエンザ様疾患の活動性はすべての地域でベースライン以下である。

ヨーロッパ地域では依然 インフルエンザの活動性は低い、散発的にインフルエンザウイルスA/H3N2亜型、B型、およびH1N1(2009)の伝播が報告されている。

パキスタンにおけるクリミアコンゴ出血熱およびデング熱

2010年10月25日

2010年10月15日、国際保健規則に基づき、パキスタン保健省はWHOに対しクリミアコンゴ出血熱(CCHF)26症例(死亡3例を含む)、およびデング熱検査確定例1,500例以上(死亡15例を含む)を報告した。

CCHFおよびデング熱はパキスタンでは季節性を有して蔓延しているが、最近は両感染症とも症例数の増加と地理的拡大が報告されている。

パキスタン保健省はCCHFおよびデング熱を予防・軽減するために、一般国民に対する曝露リスクや予防法の認知度を上げるキャンペーン、出血熱患者の治療体制の強化、適切な治療薬や個人防護装備の貯蔵、ベクターコントロールを含む活動を拡大・強化してきた。

パキスタン保健省の要求に基づき、WHOはアウトブレイクの警戒と対応の世界的ネットワーク(GOARN)を通じて、重症デング熱に対する臨床専門家および医療機関での感染制御専門家を派遣している。また、WHOは人材・資材支援、疾病サーベイランスや検査診断の強化、保健医療従事者に対する研修活動において、パキスタン保健省を支援している。

パキスタンにおけるコレラ

2010年10月25日

2010年10月12日にパキスタン保健省は同国で確定診断した99例のコレラ(*Vibrio cholerae* O1)症例を報告した。これらの症例は洪水開始時期から2010年の9月30日までの期間に、国立衛生研究所で確定診断された。これらの症例は洪水で被害を受けたシンド(Sindh)州、パンジャブ(Punjab)州、カイバルパクトゥンクワ(Khyber Pakhtunkhwa)州の広い範囲から孤発例として報告されている。

WHOや他の国内外支援団体の支援を受け、パキスタン保健省はコレラを含む感染症のアウトブレイク防止と症例治療に向けて連携して活動している。洪水により被害を受けた46の地域において、60以上の下痢治療センターが稼働しているか、もしくは間もなく稼働し始めようとして

いる。

コレラを含む下痢疾患は国内での最近の洪水災害で影響を受けた多くの場所で最も報告された健康被害である。

ハイチにおけるコレラ

2010年10月26日

10月25日夜の時点で、ハイチ保健省はコレラ疑い症例3,342例(死亡259例を含む)を報告した。北部および南部地区ではコレラ疑い症例が調査中であり、首都ポルトープランス(Port-au-prince)がある西部地区では5例が確定診断されている。

現在、治療および隔離のために12カ所のコレラ治療センター(Artiboniteに6カ所、Centralに1カ所、Port-au-princeに5カ所)が稼働している。

感染拡大予防対策として、安全な水の供給、個人衛生の向上および手洗いを含む食物の適切な取扱い、屋外での排泄防止、が強調されている。

死亡例の半分以下が病院から、しかし残りの半分以上が医療機関以外から報告されているので、WHOアメリカ地域事務局(以下PAHO)は遺体処理の専門家のハイチ派遣を予定している。

PAHOは疫学、リスクコミュニケーション、臨床、検査、環境衛生、資材調達、LSS/SUMA(人道的物資供給システム)を含む専門家をハイチおよびドミニカ共和国に派遣することを予定している。

PAHOの必要不可欠な医薬品の提供プログラム(PROMESS : Program on Essential Medicine and Supplies)には現在医薬品、抗菌薬の備蓄があるが、さらに輸液や他の医療資材も調達しようとしている。

また、PAHOはハイチの水と衛生の管理部門(the Water & Sanitation Cluster)を支援して、浄水のための塩素粉末(ブラジルからの供給も含む)の供給、および避難所の飲料水の検査を実施している。さらに、医療施設における安全な水の供給にも貢献している。

今のところ、ドミニカ共和国からのコレラ疑い症例の報告はないが、隣国ハイチの事例に対応して国境地域での緊急対策案の準備を進めている。

トリニダード・トバゴにあるPAHOのカリブ海地域疫学センター(CAREC)は、カリブ海諸国の保健省に対して、コレラ疑い症例発生に対する事前対応を支援している。

PAHOは他の国連機関、米国やカナダの保健医療当局、MINUSTAH(国際連合ハイチ安定化ミッション)、NGOsの支援活動を連携・調節し、それらの活動地域が拡大している。

2010年10月28日 - 更新

10月27日現在、ハイチ保健省は4,722例(死亡303例を含む)のコレラ症例を報告した。検査確定診断例を報告している行政地域は、Artibont(76.5%)、Centra(22.9%)、Nord-Est、およびNordである。

コレラ流行拡大阻止に対するハイチ政府の優先方針として、一般住民レベルでのコレラ感染予防、全国で稼働中の保健医療施設の活動支援強化、重症症例治療のためにコレラ治療センターや指定病院のネットワーク構築を実施している。

ハイチ国立衛生研究所および米国CDCでの検査室診断により、*Vibrio cholerae* O1小川型が分離同定され、ST合剤、フラゾリドン、ナリジクス酸、およびストレプトマイシンに耐性を示したが、

テトラサイクリン、ドキシサイクリン、およびシプロフロキサシンに感受性を呈していた。さらなる遺伝子解析が進められている。

PAHO/WHOの対応：

PAHOは他の国連機関、WHO加盟諸国の保健医療当局、MINUSTAH(国際連合ハイチ安定化ミッション)、NGOsの支援活動を連携・調節し、それらの活動地域を拡大させている。

さらに、PAHOは疫学、リスクコミュニケーション、臨床、検査、環境衛生、資材調達、LSS/SUMA(人道的物資供給システム)を含む専門家をハイチおよびドミニカ共和国に派遣している。

50,000の補液セットおよび400 ~ 500例の重症コレラ症例を治療するのに十分な下痢疾患(10種)治療キットなどを含む追加医療資材が国際協力を通して購入され、ハイチに間もなく到着する予定である。

PAHOと米国CDCの専門家はサーベイランス・症例報告の強化改善、河川や他の水源の水検体の検査室診断、および抗菌薬耐性モニタリングを実施している。

ハイチ政府のコレラ流行拡大阻止およびドミニカ共和国の緊急対策を支援するため、PAHOと米国CDCは協力してコレラ流行拡大のシミュレーションモデルを開発中であるが、それらのモデルでも今後コレラ流行がどのように拡大するか予測は困難である。

WHOは、コレラ流行が報告されている国と同じWHO地域内の諸国間における、および、その国と異なるWHO地域との間における、交通・貿易の制限を推奨していない。旅行者に対するコレラワクチン証明書は不必要であり、直腸スワブや便検査での旅行者に対するスクリーニング検査も不必要である。人的資源・財源の不必要な浪費、および関連機関・諸国間の協力妨害を避けるため、国境付近での検疫実施は不必要である。



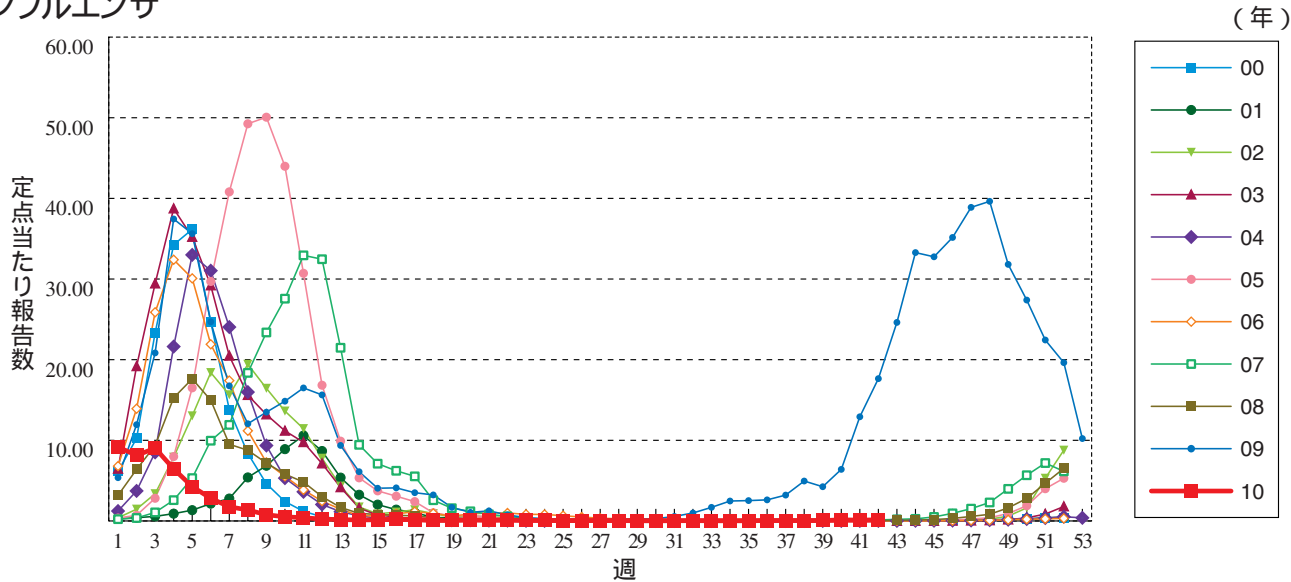
感染症の話

今週はお休みさせていただきます。
「感染症の話」過去の掲載分については
<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/index.html>
でご覧いただけます。

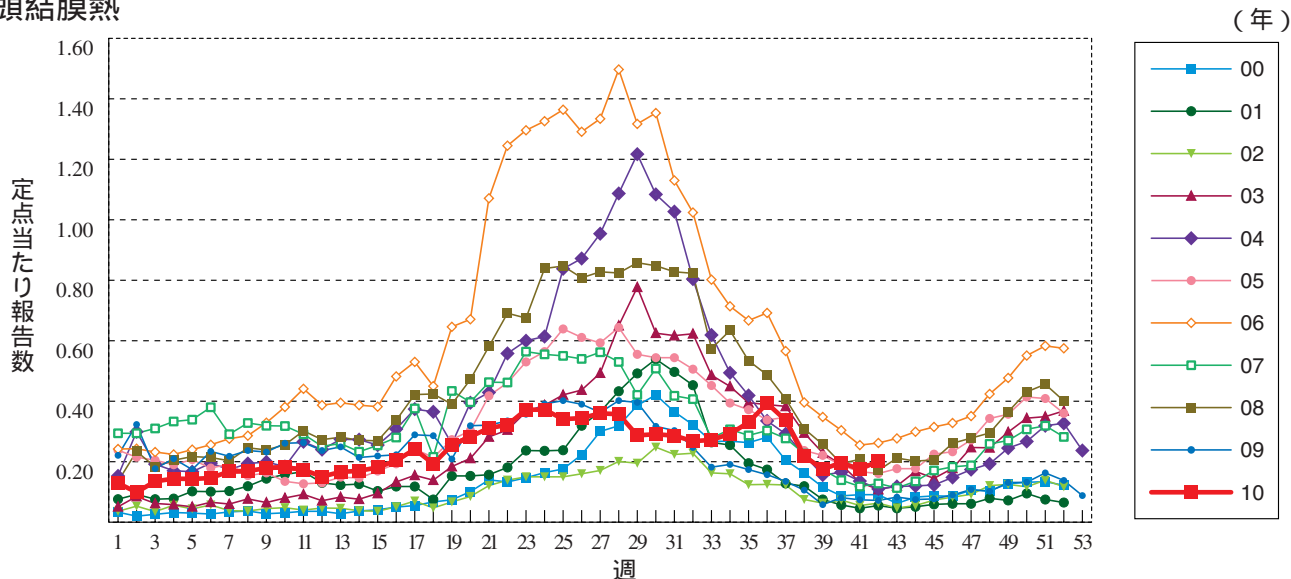


グラフ総覧(42週)

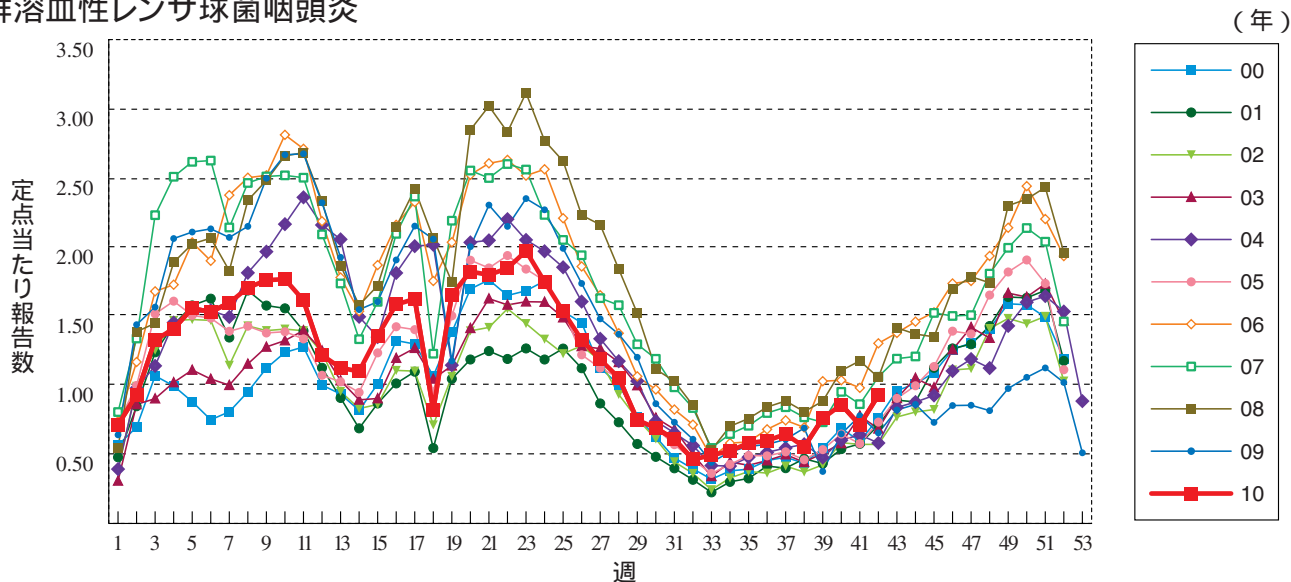
インフルエンザ



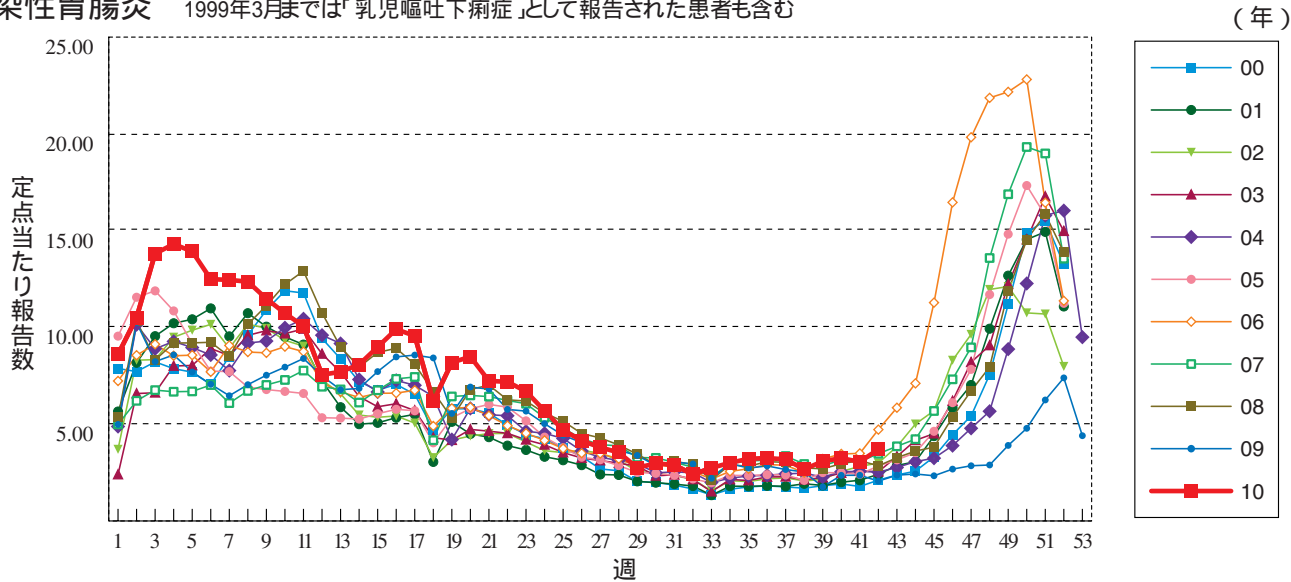
咽頭結膜熱



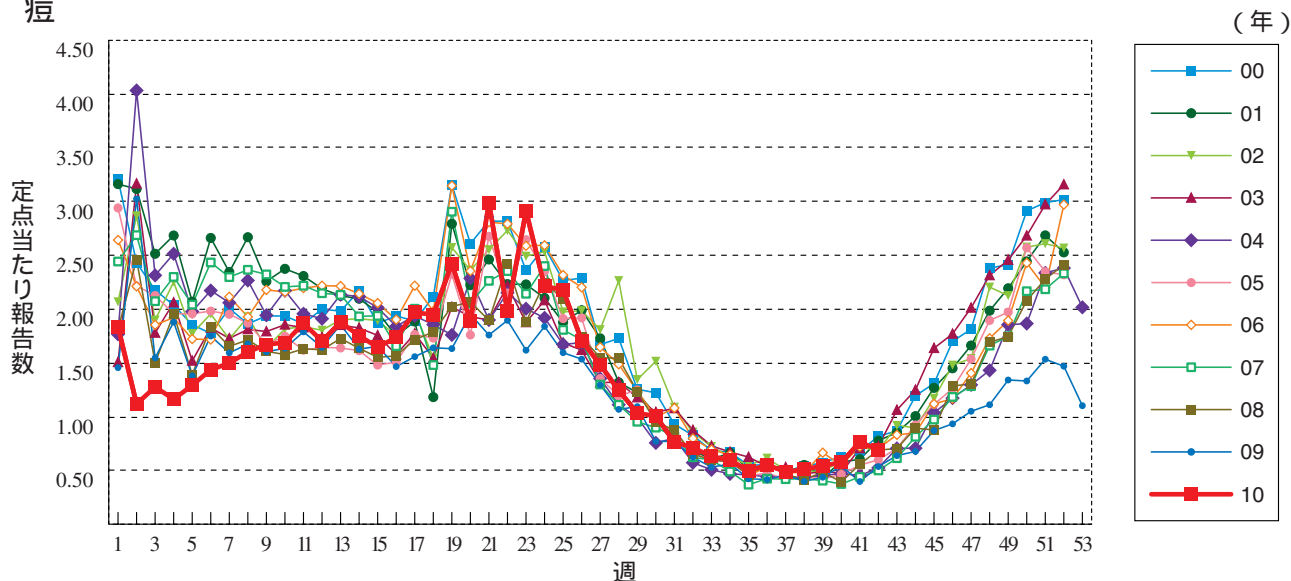
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



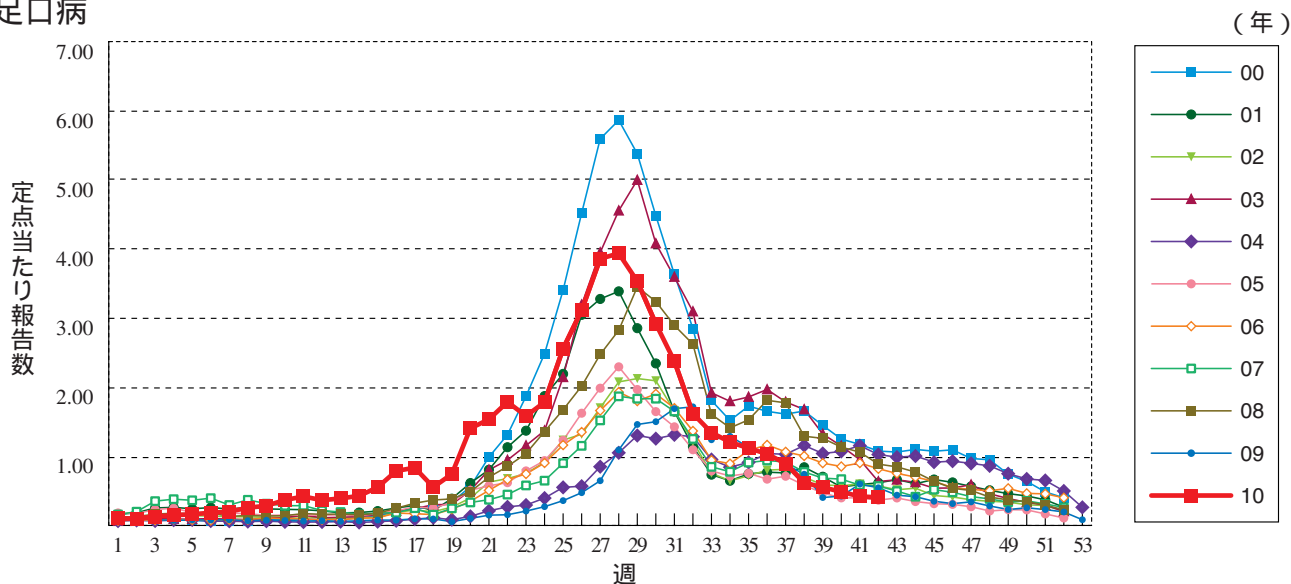
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



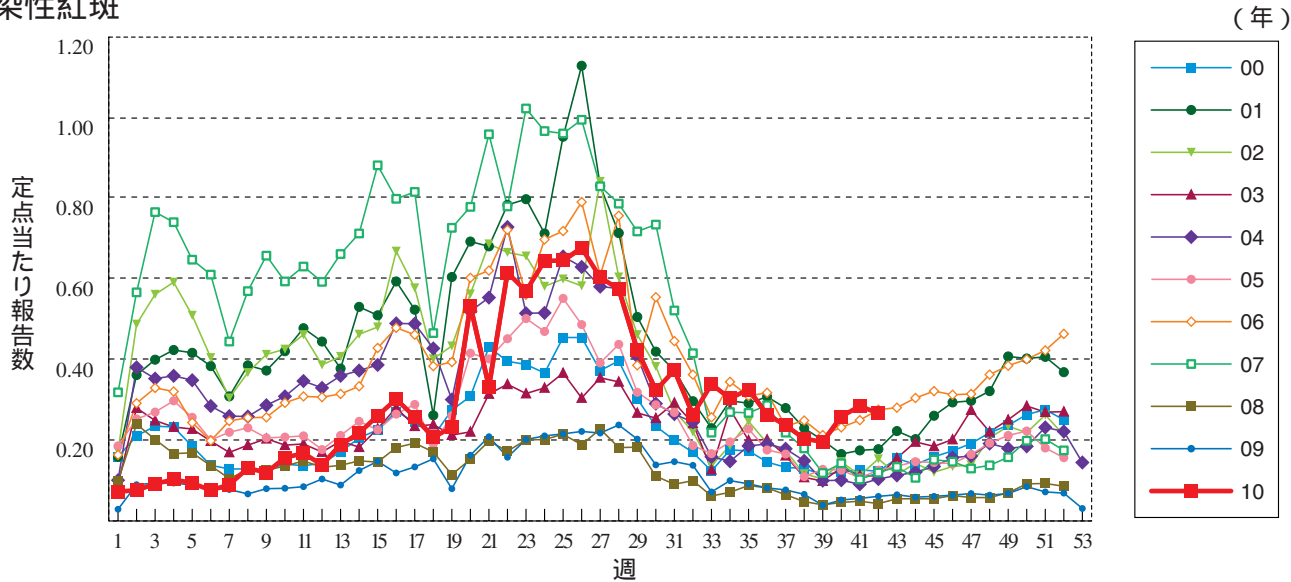
水痘



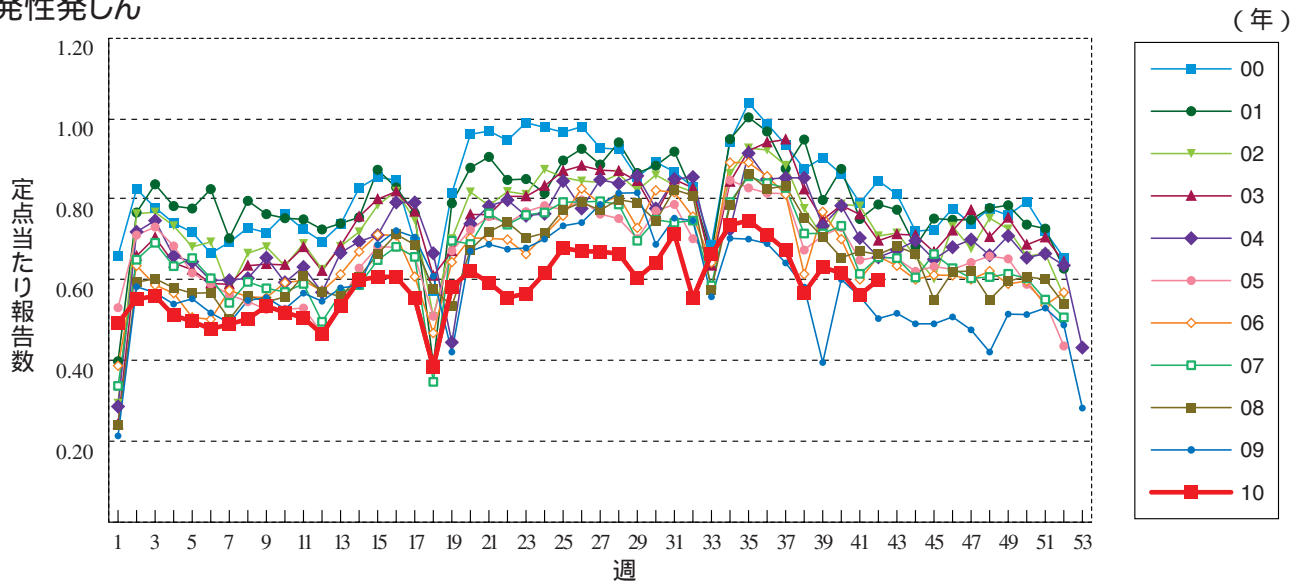
手足口病



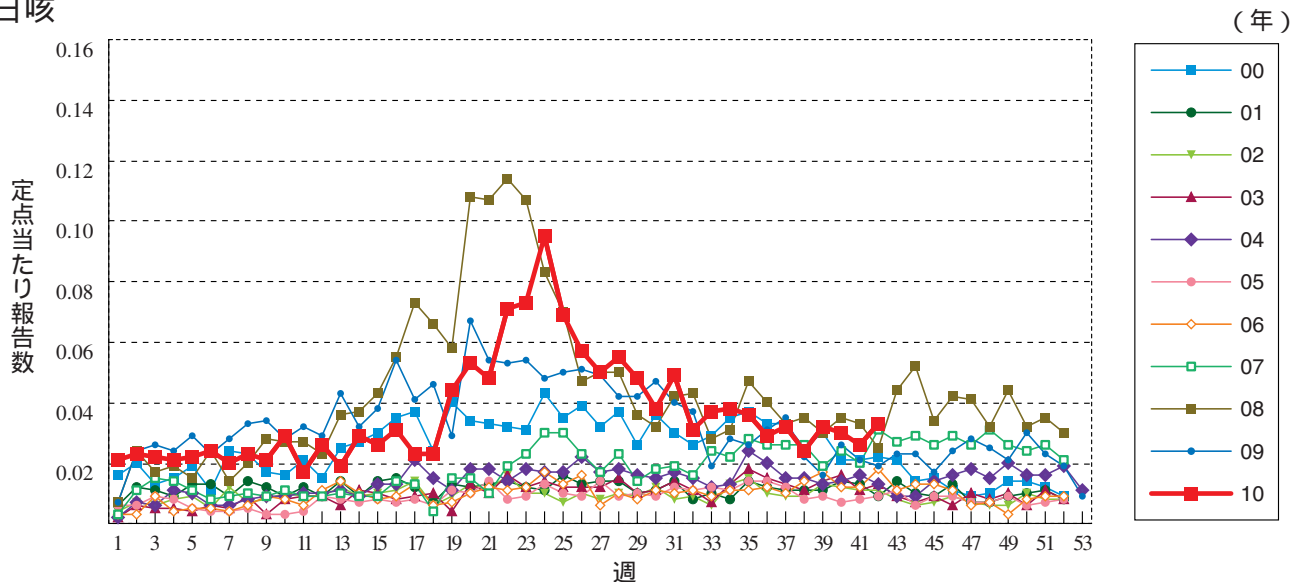
伝染性紅斑



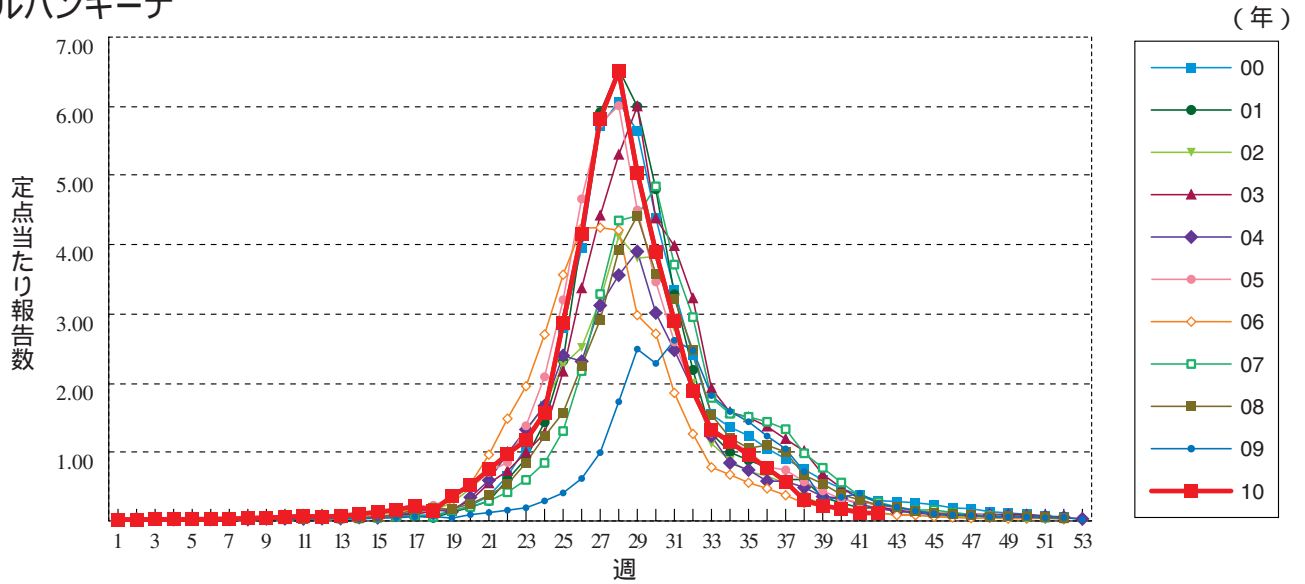
突発性発しん



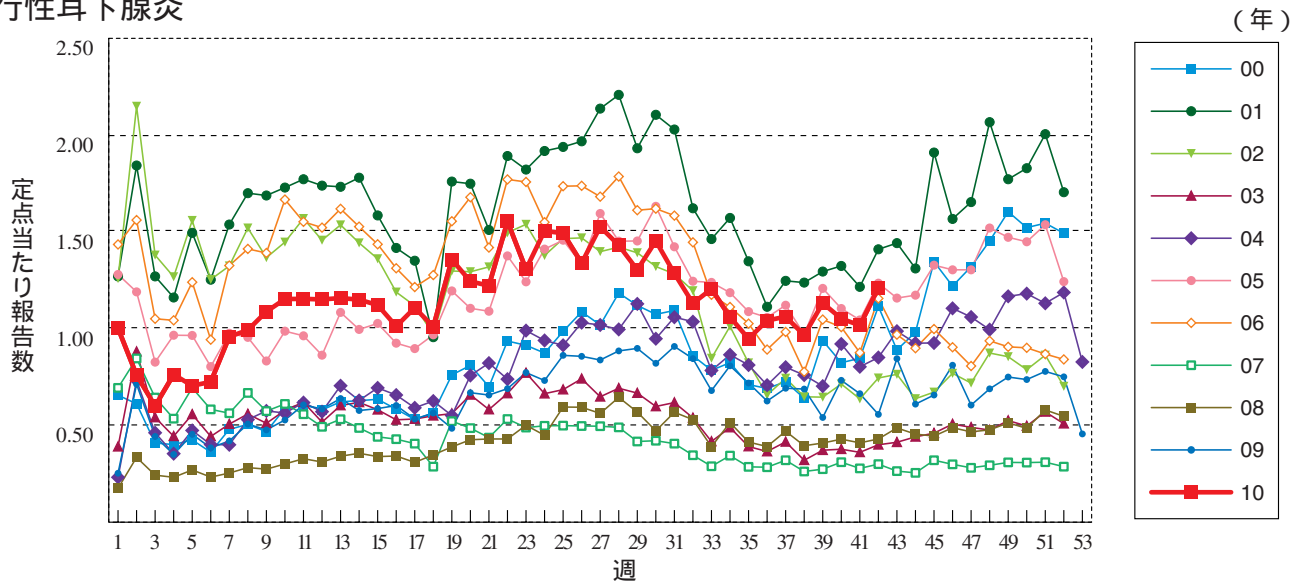
百日咳



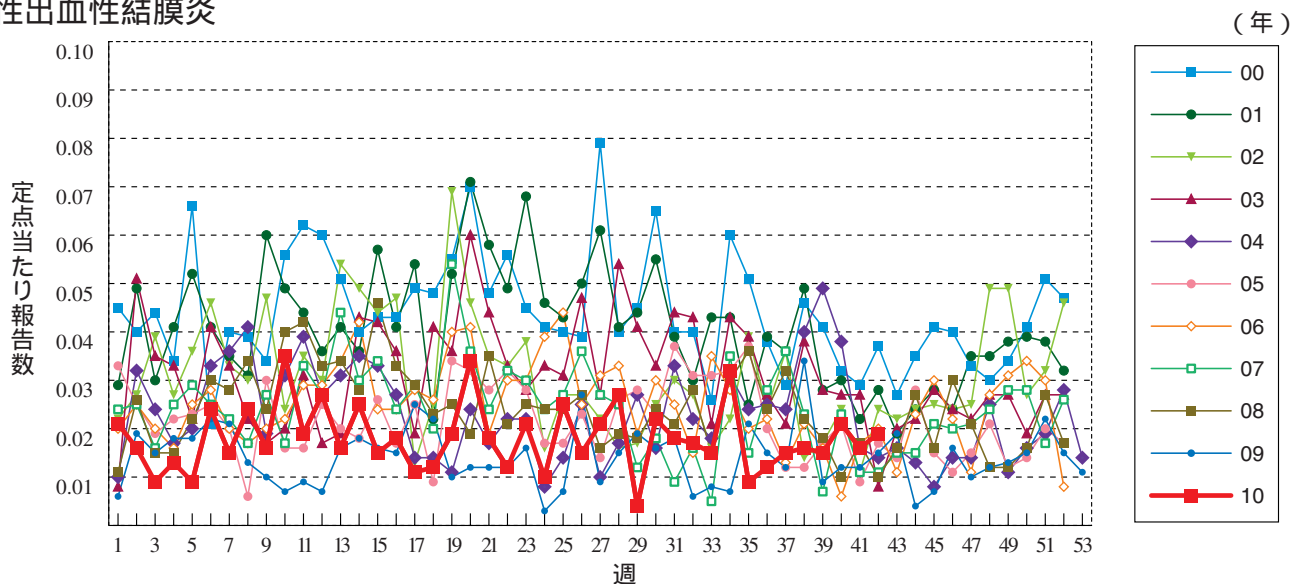
ヘルパンギーナ



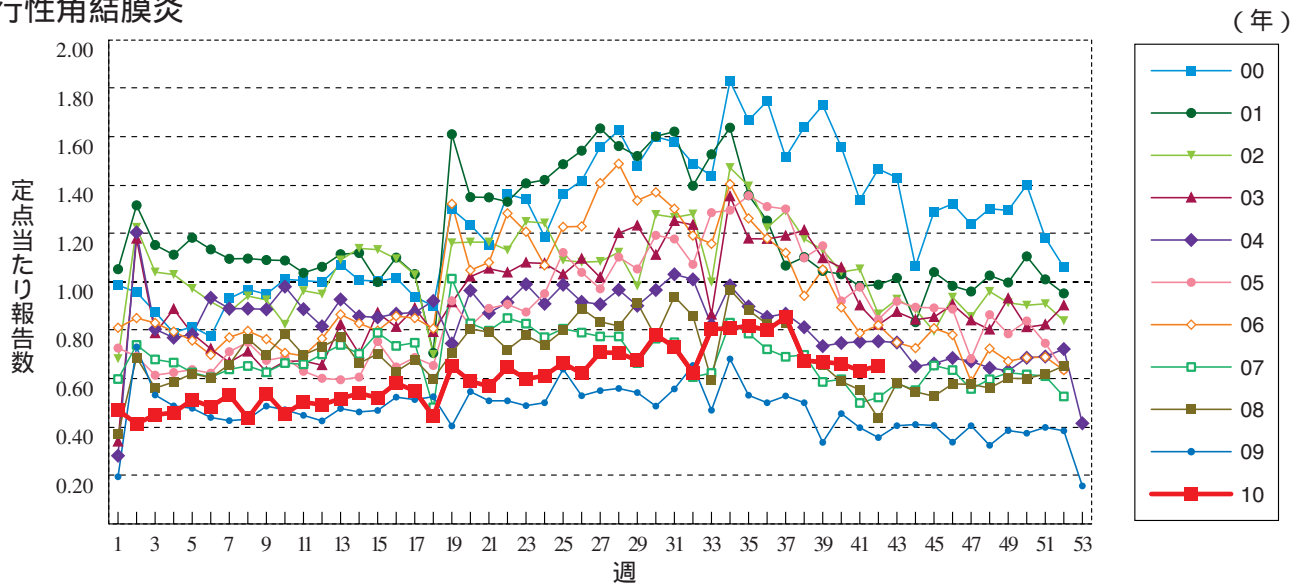
流行性耳下腺炎



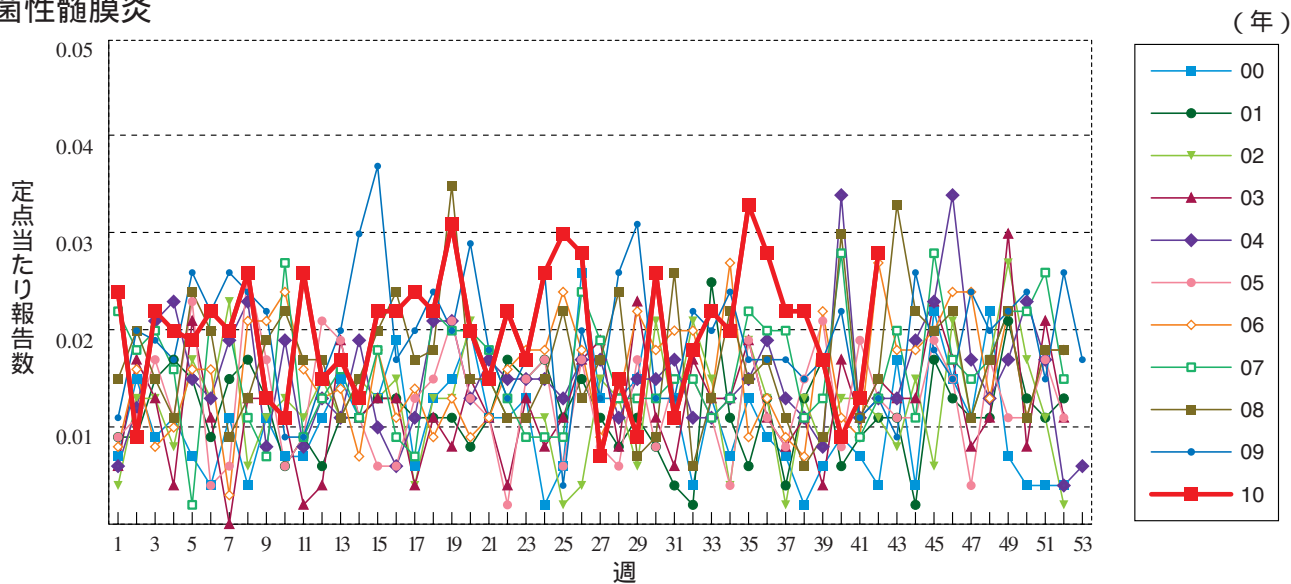
急性出血性結膜炎



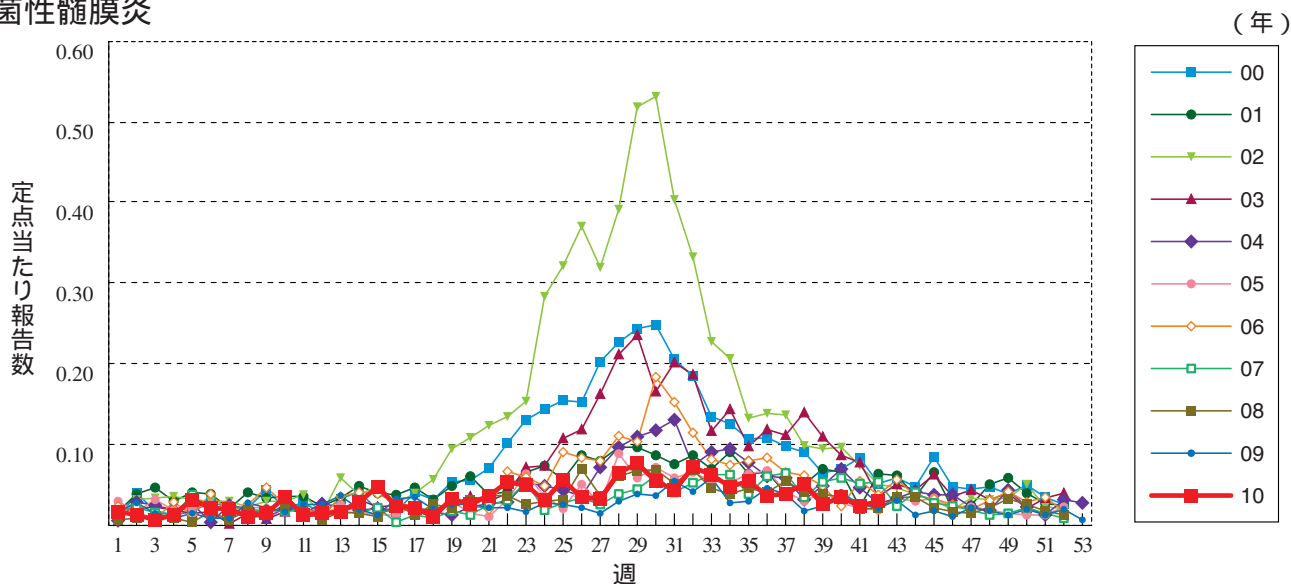
流行性角結膜炎



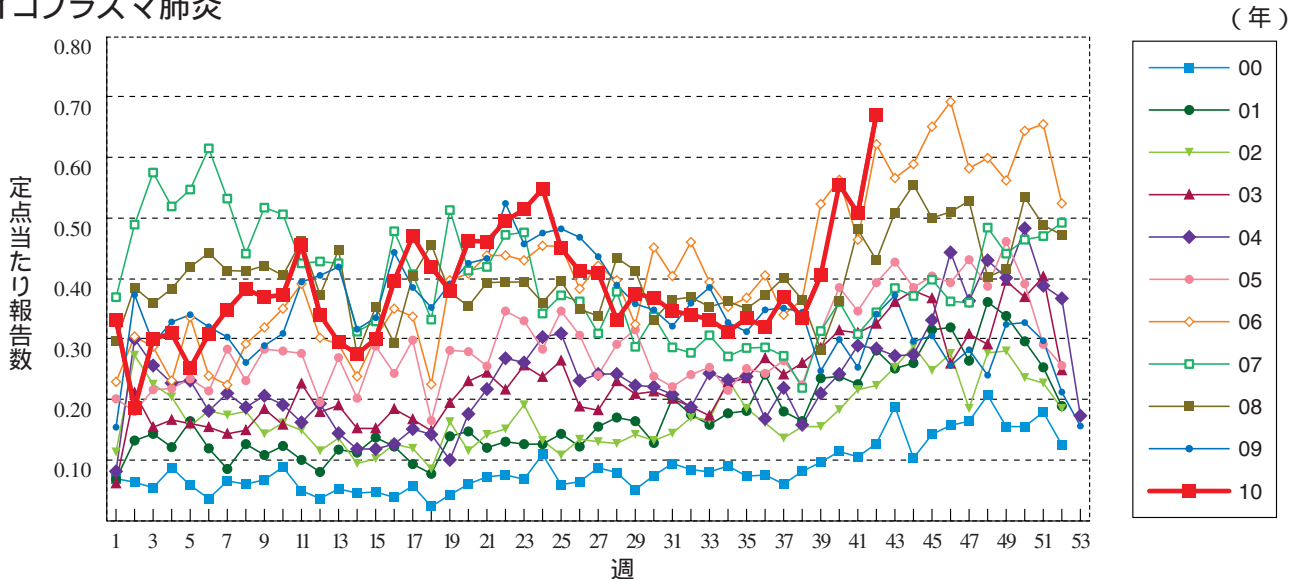
細菌性髄膜炎



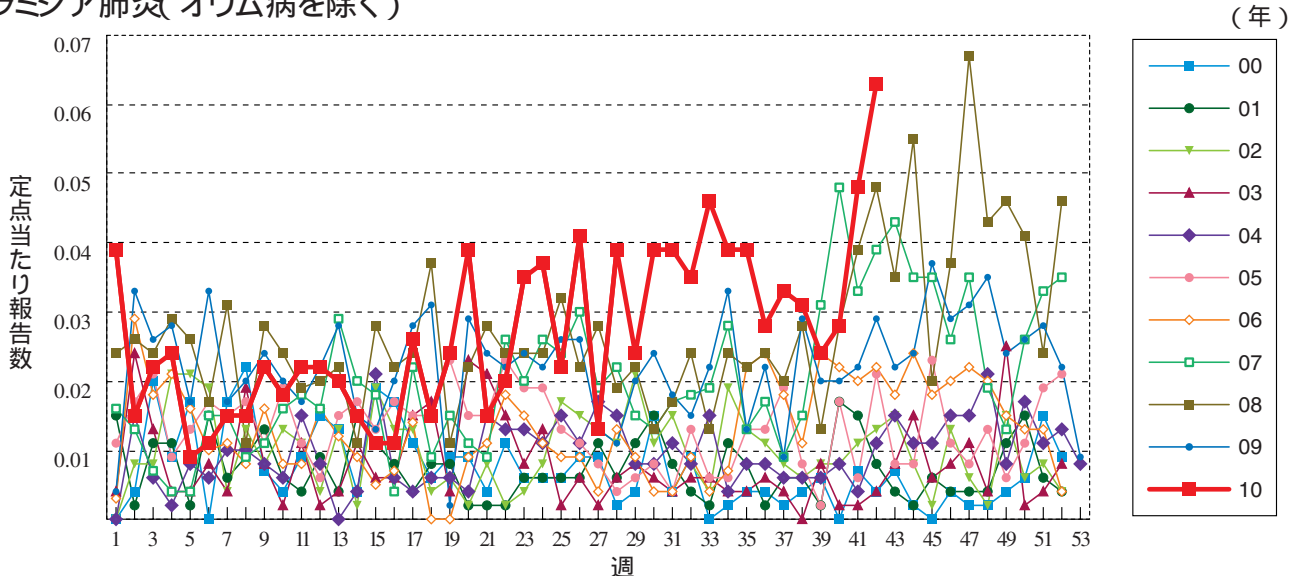
無菌性髄膜炎



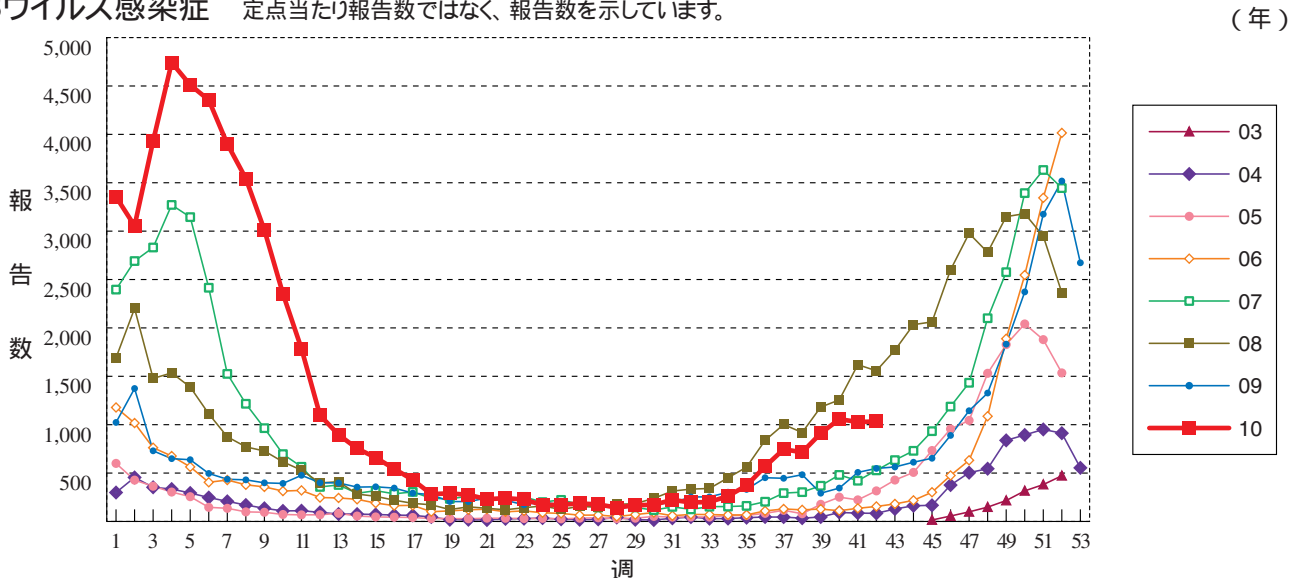
マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎(オウム病を除く)



RSウイルス感染症 定点当たり報告数ではなく、報告数を示しています。





42週のデータ

注) 表中の報告数は10月27日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。
 新型インフルエンザは掲載していません。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2010年42週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		痘 そう		南米出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		急性灰白髄炎		結 核		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	325	20466	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	668	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	239	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	150	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	249	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	142	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	129	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	227	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	471	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	246	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	165	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	934	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	23	1153	
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	63	3190	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	12	1503	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	290	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	140	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	176	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	111	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	115	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	198	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	377	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	575	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	24	1601	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	269	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	207	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	420	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	1003	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	19	822
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	221	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	213	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	68	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	125	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	244	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	465	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	184	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	155	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	153	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	256	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	124	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	796	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	166	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	327	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	238	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	221	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	174	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	320	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	246	

*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2010年42週

	ジフテリア		重症急性呼吸器症候群*		鳥インフルエンザ (H5N1)		コレラ		細菌性赤痢		腸管出血性大腸菌感染症		腸チフス		パラチフス		E型肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	10	10	12	198	62	3758	-	25	-	19	-	50
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	181	-	-	-	-	-	23
青森県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	14	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	133	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	3	120	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	65	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	40	-	-	-	-	-	1
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	2	31	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	4	-	38	-	1	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	62	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	38	-	-	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	2	1	6	1	114	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	4	112	-	3	-	1	-	1
東京都	-	-	-	-	-	-	-	2	2	76	4	318	-	8	-	5	-	6
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	18	2	150	-	6	-	3	-	1
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22	-	-	-	-	-	2
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	35	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	58	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	24	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	64	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3	38	-	-	-	1	-	1
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	1	46	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	3	8	5	221	-	-	-	-	-	2
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	343	-	-	-	-	-	1
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	61	-	-	-	1	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	84	-	-	-	3	-	2
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	3	238	-	2	-	3	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	3	147	-	2	-	-	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	49	-	1	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	25	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	61	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	2	81	-	-	-	1	-	1
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	47	-	1	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	16	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	25	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20	-	-	-	-	-	1
高知県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	12	-	-	-	-	-	1
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	1	1	13	10	271	-	-	-	-	-	1
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	2	50	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	33	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	74	-	-	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	24	-	-	-	1	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	48	-	-	-	-	-	1
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	59	-	1	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	-	-	-	-	-	1

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2010年42週

	ウエストナイル熱		A型肝炎		エキノコックス症		黄熱		オウム病		オムスク出血熱		回帰熱		キャサナル森林病		Q熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	315	-	9	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	2
北海道	-	-	4	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	9	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	26	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛知県	-	-	12	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2010年42週

	狂犬病		コクシジ オイデス症		サル痘		腎症候性出血熱		西部ウマ脳炎		ダニ媒介脳炎		炭疽		つつが虫病		デング熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	123	3	209
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	22	-	2
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	19	-	2
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	23
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	2	60
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	11
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	3
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	24
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	11
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	3
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2

*鳥インフルエンザ H5N1 を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2010年42週

	東部ウマ脳炎		鳥インフルエンザ*		ニパウイルス感染症		日本紅斑熱		日本脳炎		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		鼻 疽		ブルセラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	2	95	1	3	-	-	-	-	-	-	-	2
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
三重県	-	-	-	-	-	-	15	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	1	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	1	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2010年42週

	ペネズエラ ウマ脳炎		ヘンドラウイルス 感染症		発しんチフス		ポツリヌス症		マラリア		野 兎 病		ライム病		リッサウイルス 感染症		リフトバレー熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	1	60	-	-	-	11	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	24	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	1	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	2	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	1	8	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-

*E型肝炎およびA型肝炎を除く。

**ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ペネズエラウマ脳炎およびリフトバレー熱を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2010年42週

	類鼻疽		レジオネラ症		レプトスピラ症		ロッキー山紅斑熱		アメーバ赤痢		ウイルス性肝炎*		急性脳炎**		クリプトスポリジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	3	12	593	2	18	-	-	13	682	3	167	1	187	-	16	5	137
北海道	-	-	-	16	-	-	-	-	-	14	-	2	-	1	-	3	-	7
青森県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	3	-	2	-	1	-	5	-	2
岩手県	-	-	-	10	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1
宮城県	-	-	-	13	-	-	-	-	-	11	-	1	-	1	-	-	-	2
秋田県	-	-	-	6	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	1
山形県	-	-	-	10	-	-	-	-	-	4	-	2	-	1	-	-	-	4
福島県	-	-	1	11	-	-	-	-	1	9	-	-	-	-	-	-	-	6
茨城県	-	-	-	11	-	-	-	-	-	10	-	4	-	5	-	-	-	3
栃木県	-	-	-	16	-	-	-	-	-	1	-	5	-	4	-	2	-	-
群馬県	-	-	-	16	-	1	-	-	-	8	-	3	-	3	-	-	-	3
埼玉県	-	1	-	24	-	-	-	-	1	30	1	4	-	9	-	-	-	3
千葉県	-	-	1	22	-	1	-	-	-	43	-	-	-	25	-	-	-	4
東京都	-	1	2	41	-	2	-	-	2	141	1	30	-	13	-	3	1	11
神奈川県	-	1	-	31	-	-	-	-	2	70	-	10	-	7	-	-	-	6
新潟県	-	-	-	25	-	1	-	-	-	10	-	-	-	13	-	-	1	3
富山県	-	-	-	19	-	-	-	-	-	1	-	2	-	5	-	-	-	1
石川県	-	-	-	20	-	-	-	-	-	2	-	1	-	1	-	-	-	3
福井県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	5	-	1	-	2	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	1	18	-	1	-	-	1	8	-	-	-	2	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	9	-	-	-	-	-	7	-	1	-	-	-	-	-	6
静岡県	-	-	-	11	-	-	-	-	-	13	-	2	-	3	-	-	-	4
愛知県	-	-	-	33	-	-	-	-	-	43	1	13	-	6	-	-	-	7
三重県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	10	-	2	-	1	-	2	1	3
滋賀県	-	-	-	9	-	-	-	-	1	4	-	3	-	-	-	-	-	2
京都府	-	-	1	16	-	-	-	-	1	22	-	3	-	8	-	-	-	3
大阪府	-	-	4	43	-	1	-	-	-	65	-	19	-	25	-	-	-	8
兵庫県	-	-	1	35	-	-	-	-	1	26	-	13	-	8	-	-	-	6
奈良県	-	-	-	1	-	1	-	-	1	10	-	1	-	1	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	6	-	-	-	-	-	2	-	-	-	4	-	-	1	2
鳥取県	-	-	-	5	-	1	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	1
島根県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2
岡山県	-	-	-	17	-	-	-	-	-	8	-	7	-	1	-	-	-	2
広島県	-	-	-	10	-	-	-	-	-	14	-	5	1	8	-	-	-	4
山口県	-	-	1	5	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	2
徳島県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	6	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1
愛媛県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	2	-	3	-	-	-	-	-	2
高知県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	3
福岡県	-	-	-	21	-	-	-	-	2	32	-	10	-	9	-	-	-	3
佐賀県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4
長崎県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-	-	1	-	-
熊本県	-	-	-	10	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	3
大分県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	3	-	3	-	1	-	-	-	1
宮崎県	-	-	-	2	-	2	-	-	-	4	-	7	-	5	-	-	-	1
鹿児島県	-	-	-	7	-	-	-	-	-	3	-	1	-	8	-	-	1	4
沖縄県	-	-	-	6	2	7	-	-	-	5	-	2	-	4	-	-	-	1

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2010年42週

	劇症型溶血性 レンサ球菌感染症		後天性免疫不全 症候群		ジアルジア症		髄膜炎菌性 髄膜炎		先天性風しん 症候群		梅毒		破傷風		バンコマイシン耐性 黄色ブドウ球菌感染症		バンコマイシン耐性 腸球菌感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	97	19	1216	2	67	-	7	-	-	6	498	1	84	-	-	1	91
北海道	-	1	-	14	-	-	-	-	-	-	-	7	-	2	-	-	-	4
青森県	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	8	-	1	-	1	-	-	-	12	-	3	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-	-	-
山形県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
福島県	-	-	-	6	-	1	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-	-	1
茨城県	-	3	-	15	-	-	-	1	-	-	-	14	-	2	-	-	-	1
栃木県	-	-	1	11	-	-	-	-	-	-	1	5	-	2	-	-	-	1
群馬県	-	1	-	6	-	-	-	-	-	-	-	6	-	3	-	-	-	1
埼玉県	-	8	1	28	-	5	-	-	-	-	-	16	1	2	-	-	-	5
千葉県	-	6	-	48	-	2	-	-	-	-	-	31	-	5	-	-	-	-
東京都	-	17	10	403	1	11	-	-	-	-	-	137	-	5	-	-	-	11
神奈川県	-	8	2	61	-	9	-	1	-	-	1	22	-	3	-	-	-	18
新潟県	-	2	-	5	-	2	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	2
富山県	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-
石川県	-	1	-	7	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-
福井県	-	1	-	6	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
長野県	-	1	-	8	-	-	-	-	-	-	-	5	-	3	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	16	-	1	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	2
静岡県	-	5	-	23	-	-	-	-	-	-	-	23	-	1	-	-	-	2
愛知県	-	8	1	108	-	1	-	1	-	-	1	47	-	3	-	-	-	1
三重県	-	2	-	8	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-
滋賀県	-	2	-	1	-	1	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	2
京都府	-	2	-	18	-	1	-	1	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	7	1	204	-	9	-	-	-	-	1	45	-	5	-	-	-	9
兵庫県	-	2	-	29	-	3	-	1	-	-	1	8	-	2	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	13	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	1	3	-	1	-	-	-	-
鳥取県	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
岡山県	-	1	-	13	-	3	-	-	-	-	-	7	-	1	-	-	-	3
広島県	-	1	1	26	-	2	-	-	-	-	-	4	-	2	-	-	-	-
山口県	-	3	-	3	-	4	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	7
徳島県	-	2	-	8	-	1	-	-	-	-	-	2	-	3	-	-	-	-
香川県	-	1	-	5	-	1	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-
高知県	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
福岡県	-	4	-	47	-	2	-	-	-	-	-	24	-	2	-	-	-	8
佐賀県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
長崎県	-	1	-	2	1	2	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	6	-	1	-	-	-	-	-	10	-	1	-	-	-	4
大分県	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	5	-	5	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	4	-	4	-	-	-	1 3
沖縄県	-	-	1	11	-	3	-	1	-	-	-	1	-	1	-	-	-	2

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別 2010年42週

	風しん		麻疹	
	報告数	累積	報告数	累積
総 数	1	74	5	408
北海道	-	-	-	4
青森県	-	-	-	8
岩手県	-	-	-	5
宮城県	-	-	-	3
秋田県	-	1	-	-
山形県	-	-	-	2
福島県	-	1	-	3
茨城県	-	3	-	5
栃木県	-	-	-	5
群馬県	-	2	-	5
埼玉県	-	2	2	25
千葉県	-	6	-	39
東京都	-	11	2	67
神奈川県	1	6	-	74
新潟県	-	1	-	2
富山県	-	1	-	-
石川県	-	-	-	-
福井県	-	-	-	8
山梨県	-	-	-	3
長野県	-	-	-	5
岐阜県	-	2	-	6
静岡県	-	1	-	12
愛知県	-	3	-	16
三重県	-	1	-	6
滋賀県	-	5	-	1
京都府	-	-	1	11
大阪府	-	7	-	28
兵庫県	-	4	-	14
奈良県	-	-	-	3
和歌山県	-	1	-	1
鳥取県	-	-	-	3
島根県	-	-	-	-
岡山県	-	2	-	3
広島県	-	6	-	6
山口県	-	-	-	1
徳島県	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	2
高知県	-	-	-	-
福岡県	-	2	-	23
佐賀県	-	-	-	2
長崎県	-	3	-	1
熊本県	-	-	-	1
大分県	-	1	-	-
宮崎県	-	-	-	1
鹿児島県	-	2	-	4
沖縄県	-	-	-	-

*鳥インフルエンザを除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2010年42週

	インフルエンザ*		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	559	0.12	610	0.20	2806	0.93	11202	3.70	2100	0.69	1229	0.41	807	0.27	1818	0.60	99	0.03
北海道	111	0.49	21	0.15	260	1.82	193	1.35	115	0.80	178	1.24	62	0.43	60	0.42	3	0.02
青森県	8	0.12	4	0.10	17	0.40	55	1.31	31	0.74	34	0.81	9	0.21	18	0.43	-	-
岩手県	8	0.13	4	0.10	18	0.45	115	2.88	24	0.60	50	1.25	2	0.05	21	0.53	1	0.03
宮城県	26	0.27	10	0.17	85	1.42	276	4.60	44	0.73	16	0.27	28	0.47	51	0.85	-	-
秋田県	-	-	6	0.17	14	0.40	76	2.17	27	0.77	9	0.26	15	0.43	9	0.26	-	-
山形県	-	-	10	0.33	51	1.70	284	9.47	30	1.00	22	0.73	6	0.20	25	0.83	-	-
福島県	2	0.03	2	0.04	23	0.48	121	2.52	19	0.40	48	1.00	12	0.25	31	0.65	1	0.02
茨城県	7	0.06	12	0.16	55	0.73	136	1.81	35	0.47	22	0.29	4	0.05	26	0.35	2	0.03
栃木県	1	0.01	4	0.08	21	0.44	55	1.15	20	0.42	19	0.40	11	0.23	34	0.71	5	0.10
群馬県	7	0.07	3	0.05	51	0.84	217	3.56	38	0.62	35	0.57	8	0.13	30	0.49	-	-
埼玉県	27	0.11	42	0.27	229	1.48	625	4.03	83	0.54	95	0.61	34	0.22	106	0.68	1	0.01
千葉県	35	0.17	27	0.21	158	1.22	366	2.82	99	0.76	112	0.86	54	0.42	71	0.55	13	0.10
東京都	55	0.19	38	0.26	164	1.11	645	4.36	87	0.59	64	0.43	46	0.31	91	0.61	9	0.06
神奈川県	37	0.12	39	0.20	152	0.76	799	4.00	110	0.55	61	0.31	17	0.09	139	0.70	8	0.04
新潟県	2	0.02	3	0.05	68	1.11	291	4.77	57	0.93	10	0.16	18	0.30	42	0.69	-	-
富山県	-	-	9	0.31	32	1.10	126	4.34	20	0.69	23	0.79	3	0.10	11	0.38	-	-
石川県	-	-	18	0.62	55	1.90	73	2.52	33	1.14	22	0.76	7	0.24	16	0.55	-	-
福井県	9	0.28	7	0.32	51	2.32	150	6.82	40	1.82	23	1.05	7	0.32	11	0.50	1	0.05
山梨県	-	-	2	0.08	13	0.54	88	3.67	5	0.21	5	0.21	-	-	12	0.50	-	-
長野県	1	0.01	8	0.15	46	0.84	186	3.38	59	1.07	30	0.55	3	0.05	29	0.53	4	0.07
岐阜県	21	0.24	6	0.12	11	0.21	133	2.56	15	0.29	21	0.40	9	0.17	20	0.38	4	0.08
静岡県	18	0.15	6	0.07	60	0.72	328	3.95	42	0.51	10	0.12	11	0.13	52	0.63	-	-
愛知県	8	0.04	24	0.13	124	0.69	520	2.87	113	0.62	80	0.44	20	0.11	102	0.56	5	0.03
三重県	19	0.26	7	0.16	22	0.49	242	5.38	31	0.69	12	0.27	16	0.36	30	0.67	-	-
滋賀県	1	0.02	3	0.09	12	0.38	106	3.31	17	0.53	6	0.19	7	0.22	17	0.53	-	-
京都府	1	0.01	5	0.07	28	0.37	227	3.03	31	0.41	11	0.15	23	0.31	35	0.47	2	0.03
大阪府	15	0.05	43	0.22	224	1.15	663	3.42	117	0.60	19	0.10	30	0.15	99	0.51	3	0.02
兵庫県	10	0.05	28	0.22	105	0.81	433	3.36	94	0.73	24	0.19	37	0.29	83	0.64	2	0.02
奈良県	1	0.02	6	0.17	17	0.49	89	2.54	18	0.51	4	0.11	8	0.23	10	0.29	1	0.03
和歌山県	1	0.02	1	0.03	10	0.32	109	3.52	11	0.35	2	0.06	-	-	11	0.35	-	-
鳥取県	-	-	1	0.05	28	1.47	77	4.05	10	0.53	-	-	12	0.63	10	0.53	1	0.05
島根県	-	-	3	0.13	13	0.57	98	4.26	37	1.61	1	0.04	1	0.04	15	0.65	-	-
岡山県	1	0.01	3	0.06	25	0.46	231	4.28	52	0.96	7	0.13	3	0.06	28	0.52	1	0.02
広島県	5	0.04	34	0.47	34	0.47	333	4.63	44	0.61	13	0.18	2	0.03	46	0.64	9	0.13
山口県	-	-	9	0.18	109	2.22	241	4.92	45	0.92	8	0.16	3	0.06	38	0.78	1	0.02
徳島県	4	0.10	-	-	10	0.42	113	4.71	24	1.00	10	0.42	4	0.17	12	0.50	-	-
香川県	3	0.06	-	-	22	0.79	110	3.93	23	0.82	1	0.04	2	0.07	21	0.75	1	0.04
愛媛県	5	0.08	3	0.08	44	1.19	137	3.70	22	0.59	1	0.03	1	0.03	21	0.57	-	-
高知県	1	0.02	19	0.63	20	0.67	52	1.73	12	0.40	1	0.03	4	0.13	20	0.67	2	0.07
福岡県	31	0.16	43	0.36	116	0.97	584	4.87	144	1.20	39	0.33	132	1.10	119	0.99	12	0.10
佐賀県	2	0.05	9	0.39	11	0.48	160	6.96	11	0.48	8	0.35	16	0.70	24	1.04	-	-
長崎県	11	0.16	8	0.18	26	0.59	260	5.91	22	0.50	5	0.11	21	0.48	24	0.55	1	0.02
熊本県	8	0.10	11	0.23	46	0.96	156	3.25	36	0.75	11	0.23	45	0.94	45	0.94	-	-
大分県	-	-	16	0.44	29	0.81	371	10.31	55	1.53	1	0.03	6	0.17	27	0.75	1	0.03
宮崎県	8	0.14	14	0.39	29	0.81	207	5.75	37	1.03	36	1.00	9	0.25	43	1.19	-	-
鹿児島県	5	0.05	20	0.36	53	0.96	226	4.11	36	0.65	-	-	38	0.69	20	0.36	-	-
沖縄県	44	0.76	19	0.56	15	0.44	119	3.50	25	0.74	20	0.59	1	0.03	13	0.38	5	0.15

*髄膜炎菌性髄膜炎は除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2010年42週

	ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎*		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		RSウイルス感染症
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数
総数	333	0.11	3656	1.21	13	0.02	444	0.65	13	0.03	14	0.03	310	0.67	29	0.06	1033
北海道	56	0.39	222	1.55	1	0.03	7	0.24	-	-	-	-	13	0.57	-	-	45
青森県	3	0.07	31	0.74	-	-	6	0.55	-	-	-	-	13	2.17	-	-	8
岩手県	6	0.15	49	1.23	-	-	10	0.71	-	-	1	0.05	8	0.42	-	-	12
宮城県	7	0.12	48	0.80	1	0.08	4	0.33	-	-	-	-	30	2.50	-	-	8
秋田県	4	0.11	11	0.31	1	0.14	3	0.43	-	-	-	-	7	0.88	-	-	9
山形県	3	0.10	10	0.33	-	-	13	1.63	-	-	-	-	1	0.10	-	-	14
福島県	13	0.27	83	1.73	-	-	11	0.92	-	-	-	-	16	2.29	-	-	7
茨城県	2	0.03	69	0.92	-	-	12	0.71	-	-	-	-	17	1.31	-	-	5
栃木県	-	-	66	1.38	-	-	8	0.67	-	-	-	-	3	0.43	7	1.00	5
群馬県	7	0.11	62	1.02	-	-	15	1.00	-	-	1	0.13	11	1.38	-	-	4
埼玉県	18	0.12	175	1.13	1	0.02	21	0.50	1	0.11	-	-	22	2.44	1	0.11	13
千葉県	25	0.19	140	1.08	1	0.03	13	0.39	-	-	-	-	-	-	-	-	19
東京都	22	0.15	70	0.47	1	0.03	16	0.41	-	-	2	0.09	8	0.35	1	0.04	27
神奈川県	19	0.10	230	1.15	-	-	42	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	30
新潟県	6	0.10	178	2.92	-	-	3	0.33	-	-	-	-	5	0.42	9	0.75	63
富山県	1	0.03	51	1.76	-	-	2	0.29	-	-	-	-	6	1.20	-	-	7
石川県	1	0.03	26	0.90	-	-	5	0.71	-	-	-	-	1	0.20	-	-	5
福井県	-	-	10	0.45	-	-	1	0.33	-	-	-	-	3	0.50	-	-	3
山梨県	-	-	14	0.58	2	0.22	1	0.11	-	-	-	-	3	0.30	2	0.20	-
長野県	6	0.11	154	2.80	1	0.09	5	0.45	1	0.09	1	0.09	11	1.00	-	-	-
岐阜県	3	0.06	9	0.17	-	-	6	0.55	-	-	-	-	2	0.40	-	-	15
静岡県	6	0.07	104	1.25	-	-	9	0.45	-	-	-	-	9	0.90	-	-	15
愛知県	21	0.12	102	0.56	-	-	9	0.26	1	0.07	1	0.07	10	0.67	3	0.20	48
三重県	5	0.11	23	0.51	-	-	2	0.17	-	-	-	-	-	-	-	-	14
滋賀県	5	0.16	37	1.16	-	-	1	0.13	-	-	1	0.14	1	0.14	-	-	11
京都府	6	0.08	77	1.03	-	-	8	0.44	-	-	-	-	-	-	-	-	6
大阪府	8	0.04	255	1.31	1	0.02	25	0.49	-	-	2	0.13	25	1.67	-	-	122
兵庫県	10	0.08	286	2.22	-	-	17	0.49	-	-	1	0.10	3	0.30	-	-	17
奈良県	4	0.11	14	0.40	1	0.11	12	1.33	-	-	-	-	1	0.17	-	-	4
和歌山県	2	0.06	68	2.19	-	-	-	-	-	-	-	-	3	0.27	-	-	13
鳥取県	-	-	8	0.42	-	-	2	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-	5
島根県	1	0.04	49	2.13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	7	0.13	43	0.80	-	-	22	1.83	-	-	-	-	3	0.60	-	-	26
広島県	6	0.08	131	1.82	-	-	18	0.95	1	0.05	-	-	6	0.29	-	-	36
山口県	7	0.14	74	1.51	-	-	2	0.22	-	-	-	-	4	0.44	-	-	22
徳島県	1	0.04	34	1.42	-	-	-	-	2	0.40	-	-	1	0.20	-	-	4
香川県	7	0.25	60	2.14	-	-	3	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	5
愛媛県	7	0.19	37	1.00	-	-	14	1.75	-	-	-	-	8	1.33	-	-	17
高知県	2	0.07	3	0.10	-	-	1	0.33	-	-	-	-	13	1.86	1	0.14	10
福岡県	5	0.04	109	0.91	-	-	6	0.23	-	-	-	-	6	0.40	-	-	120
佐賀県	-	-	26	1.13	-	-	-	-	-	-	-	-	9	1.50	1	0.17	17
長崎県	2	0.05	82	1.86	1	0.13	8	1.00	1	0.08	1	0.08	3	0.25	2	0.17	17
熊本県	4	0.08	83	1.73	-	-	5	0.56	-	-	1	0.07	5	0.33	1	0.07	38
大分県	3	0.08	51	1.42	-	-	5	1.00	-	-	-	-	1	0.09	-	-	4
宮崎県	4	0.11	80	2.22	-	-	16	2.67	-	-	2	0.29	2	0.29	1	0.14	86
鹿児島県	6	0.11	79	1.44	-	-	3	0.43	-	-	-	-	2	0.17	-	-	67
沖縄県	2	0.06	33	0.97	1	0.10	52	5.20	6	0.86	-	-	15	2.14	-	-	10

獣医師が届出を行う感染症と対象動物

注 報告数は感染実験等の学術的研究による発生を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2010年42週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群(SARS)						結核		鳥インフルエンザ(H5N1)		細菌性赤痢	
	サル		サル		プレーリードッグ	イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		鳥類		サル		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	44
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別 2010年42週

	ウエストナイル熱		エキノコックス症	
	鳥類		犬	
	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	1
北海道	-	-	-	1
青森県	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-

感染症週報 第12巻 第42号 2010年11月8日発行
 発行：国立感染症研究所

厚生労働省健康局結核感染症課
 厚生労働省大臣官房統計情報部

事務局：国立感染症研究所感染症情報センター

〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1

T E L : 03-5285-1111

F A X : 03-5285-1129

U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

< 国立感染症研究所 感染症情報センター >

<http://www.mhlw.go.jp/>

< 厚生労働省 >

<http://www.forth.go.jp/>

< 旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所) >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。